

沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造（プレハブ）事務所増築工事

図 面 目 録							
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称		
【建築】				【構造】			
A－01	表紙	A－18	展開図-1	S－01	構造設計特記仕様	S－18	軸組図（3）
A－02	建築工事特記仕様書1	A－19	展開図-2	S－02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	S－19	軸組図（4）
A－03	建築工事特記仕様書2	A－20	展開図-3	S－03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	S－20	鉄骨部材リスト
A－04	建築工事特記仕様書3	A－21	展開図-4	S－04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）	S－21	納まり詳細図（1）
A－05	建築工事特記仕様書4	A－22	雑詳細図-1	S－05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（4）	S－22	納まり詳細図（2）
A－06	敷地案内配置図	A－23	雑詳細図-2	S－06	雑配筋標準図（1）		
A－07	求積図・面積表	A－24	法規チェック図	S－07	雑配筋標準図（2）	【設備】	
A－08	各階平面図・仕上表			S－08	雑配筋標準図（3）	EM－01	照明設備図
A－09	屋根伏図			S－09	雑配筋標準図（4）	EM－02	コンセント設備図
A－10	立面図			S－10	鉄骨構造標準図（1）	EM－03	弱電設備図
A－11	断面図			S－11	鉄骨構造標準図（2）	EM－04	動力設備図
A－12	断面詳細図-1			S－12	地質調査結果	EM－05	消防設備平面図
A－13	階段詳細図			S－13	基礎伏図・基礎リスト・スラブリスト		
A－14	平面詳細図-1			S－14	2階梁伏図		
A－15	平面詳細図-2			S－15	屋根(上側)伏図		
A－16	天井伏図			S－16	軸組図（1）		
A－17	建具表			S－17	軸組図（2）		

令和7年度 沖縄県中央児童相談所

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造（プレハブ）事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	表紙・図面目録	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	-	
適 要				図面番号	A－01	
審 査	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計
					資格者氏名	一級建築士 徳村 泉
					登 録 番 号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号
					所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号

建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部

令和4年7月改定版

1 工事概要

(1) 工 事 名：沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事

(2) 工 事 場 所：那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他 (地域地区等:第一種中高層住居専用地域)

(3) 敷 地 面 積：4,101.17 m²

(4) 工 事 種 目：増築

ア 建築物

建築物の名称	児童相談所		
主要用途	事務所		
構造及び階数	軽量鉄骨造 地上2階建		
工事種別	増 築		
建築面積	95.96	m ²	m ²
延べ面積	158.99	m ²	m ²

イ 工作物及び土木

工作物等の名称			
数量			

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、令和 5年 9月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 建築工事仕様

(1) 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)〔令和4年版〕(以下「標準仕様書」という。))による。

(2) 特記仕様

ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

イ 特記事項は、「」に○印の付いたものを適用する。

「」に○印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。

「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。

ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。

エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策

受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。

ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。

ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。

(3) ワンダーレスボンスの実施

ア この工事はワンダーレスボンス実施対象工事である。

「ワンダーレスボンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。

エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

(4) 工事監理業務への協力等

ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。

章

項 目

①一般共通事項

①適用基準等

②工事実績情報の登録(1.1.4)

③工事の一時中止に関する事項(1.1.9)

④工事の余裕期間

5 概成工期(1.2.1)

⑥品質計画等(1.2.2)

⑦施工図等(1.2.3)

⑧工事の記録(1.2.4)

⑨電気保安技術者(1.3.3)

10 施工条件(1.3.5)

①適用基準等

○ 建築工事監理指針(令和元年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

○ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

○ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和4年版)(一社)公共建築協会

○ 営繕工事写真撮影要領(令和3年版)

○ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部

○ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部

○ 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部

登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。

工事の一時中止に係る計画の作成

(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。

なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

・ 本工事は、余裕期間を設定して実施する工事である。

(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。

(2) CORINS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。

(3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は不要とする。

(4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものである。

(5) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)について、実工期の始期に提出するものとする。

(6) 受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。

(7) 実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。

(8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。

図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。

(1) 風速:V0＝ m/s (平12建告第1454号第2)

(2) 地表面粗度区分: (8.4.3) (8.5.3) (9.4.4) (10.5.3) (13.2.3) (13.3.3) (13.4.3) (14.7.3) (16.14.5) (23.5.4)

(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。

(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。

沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。

電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。

施工順序等の制約 ・ 無し

・ 有り【 ・ 現場説明書による ・ 図示 ・ 資材、機材置場 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ 建設発生土の仮置場 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ その他の施工条件 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ 図示 ・

7 鉄骨工事	①鋼材(7.2.1) (表7.2.1)	<table><tr><td>記号の種類</td><td>適用箇所</td><td colspan="4">備考</td></tr><tr><td>STKR400</td><td>柱</td><td colspan="4">形状及び寸法は、図示による。</td></tr><tr><td>SS400</td><td>梁、二次部材</td><td colspan="4">形状及び寸法は、図示による。</td></tr><tr><td>種類</td><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>備考</td></tr><tr><td>F10T、F8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> すべり係数試験：【・実施する ・実施しない】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理:【・図示 ・	記号の種類	適用箇所	備考				STKR400	柱	形状及び寸法は、図示による。				SS400	梁、二次部材	形状及び寸法は、図示による。				種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考	F10T、F8						⑤外壁パネル工法 (8.4.3)(8.5.3)	(1)地震に対する安全性 設計用震度(K _H) 設計用震度 設計用水 平震度 (K _H) ※1.0 ・ 設計用鉛 直震度 (K _V) ※0.5 ・ 設計用鉛 直震度 (K _V) ※0.5 ・ 設計用鉛 直震度 (K _V) ※0.5 ・	11 タイル工事	1タイル (11.2.2)(11.3.2)	(1)タイルの種類 施工箇所 形状・寸法 うわぐすり 吸水率 役物 色 耐滑り性 (2)タイルの試験張り:【・行う ・行わない】 (3)タイルの見本焼き:【・行う ・行わない】 (4)腰壁タイルの上端は、役物タイル使用とする。 壁タイル張りの工法等 タイルの種類 大きさ 工法 張付け材料の種類、塗厚等 モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理: 【・MCR工法 ・目荒らし工法】	⑬ 屋根及び びとい工事	1長尺金属板葺 (13.2.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>屋根葺形状</td><td>板及びコイル の種類</td><td>塗膜の耐久性、 めっき付着量の種 類の表示記号</td><td>厚さ等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 下葺材料:【・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング】	施工箇所	屋根葺形状	板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、 めっき付着量の種 類の表示記号	厚さ等						②折板 (13.3.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>形式の区分</td><td>山高・山ピッ チ</td><td>耐力による 区分</td><td>材料による 区分</td><td>厚さ</td></tr><tr><td>屋根</td><td></td><td>85@200</td><td></td><td></td><td>t0.6</td></tr></table> (1)軒先面戸板の適用:【○有り ・なし】 (2)断熱材張り【・実施する ○実施しない】	施工箇所	形式の区分	山高・山ピッ チ	耐力による 区分	材料による 区分	厚さ	屋根		85@200			t0.6	3県産瓦葺	(1)瓦は沖縄県産の赤瓦とする。 (2)沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 【・1名以上配置 ・施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置】	4瓦 (13.4.3)	(1)瓦の緊結方法: ()	⑤とい(13.5.2) (表13.5.1)	<table><tr><td>材種</td><td>規格名称</td><td>材質</td><td>備考</td></tr><tr><td>硬質塩化ビニル管</td><td>Φ75</td><td>VP</td><td>カラーパイプ</td></tr></table>	材種	規格名称	材質	備考	硬質塩化ビニル管	Φ75	VP	カラーパイプ
	記号の種類	適用箇所	備考																																																																											
	STKR400	柱	形状及び寸法は、図示による。																																																																											
	SS400	梁、二次部材	形状及び寸法は、図示による。																																																																											
	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																																																								
F10T、F8																																																																														
施工箇所	屋根葺形状	板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、 めっき付着量の種 類の表示記号	厚さ等																																																																										
施工箇所	形式の区分	山高・山ピッ チ	耐力による 区分	材料による 区分	厚さ																																																																									
屋根		85@200			t0.6																																																																									
材種	規格名称	材質	備考																																																																											
硬質塩化ビニル管	Φ75	VP	カラーパイプ																																																																											
5デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法:【・図示 ・	施工部位	材質	形状	寸法	備考						⑨ 防水工事	①防水の種類	(1)防水の種類等 (9.2.2)(9.3.2)(9.4.2)(9.5.2)(9.6.1) 防水の種類 厚さ 施工箇所 透 waterproofingシート 外壁	②土壌の防蟻処理	①木材 (12.2.1) (表12.2.1)	①木材(下地材)の含水率: ※A種 ・B種 木材(造作材)の含水率: ※A種 ・B種 ②製材 【・「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外による】 【・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・	③造作用集成材 【・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による】 【・造作用集成材 ・化粧ざり造作用集成材 ・化粧ざり構造用集成材 ・ 施工箇所 樹種 寸法 等級又は品質 含水率 防虫処理	④造作用単板積層材 【・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】 施工箇所 厚さ 表面の品質 含水率 防虫処理	⑤合板等【○普通合板 ○構造用合板】 施工箇所 樹種 厚さ品質、等級等 接着の程度 防虫・強度等 床下地 ラワン t12構造用 棚 シナ t5合板	(6)パーティクルボード 施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤 難燃性	(7)構造用パネル 施工箇所 厚さ 等級	(1)施工箇所:「防除施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行)Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。 (2)処理薬剤:(公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。 (3)処理方法:「防除施工標準仕様書」Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。	木材処理(防蟻・防虫) (1)施工箇所:合板、集成材等を除く全ての木材 (2)処理方法:工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 (3)性能区分:性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。	(1)公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2)元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。																																																					
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																																																										
6スタッド (7.2.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工部位	材質	形状	寸法	備考								②シーリング (9.7.2)(9.7.3) (9.7.5) (16.14.5) (17.3.2)												(3)その他の材料等 ・押え金物:(材質)(寸法) ・絶縁用シート:(材料) ・断熱材:(材質)(厚さ) ・立上り部保護:(材料)(工法等) ・脱気装置:(種類)(設置数) ・仕上げ塗料:(種類)(使用量)	(4)施工 ・下地の処理方法等:()	シーリング材の種類 施工箇所 試験等 ※簡易接着性試験 ・ 変形シリコン系(MS-2) 金物見切 建具廻り ※簡易接着性試験 ・	(1)元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 (2)保証期間は、工事完成後【10】年間とする。ただし、アスファルト防水は【 】年間とする。	③防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	④防蟻処理、防虫処理の施工及び保証																																															
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																																																										
7柱底均しモルタル(7.2.9)	<table><tr><td>材料</td><td>厚さ</td><td>種別</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材料	厚さ	種別	備考					⑩ 石工事	1石材(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	(1)天然石 施工箇所 種類 表面仕上げの種類	(2)テラゾ 施工箇所 種石の種類、大きさ 形状及び寸法 表面仕上げの種類		(1)工法、加工等 工法 厚さ 石裏面処理 裏打ち処理 備考	(2)乾式工法の方式:【・スライド方式 ・ロッキング方式】 (3)あと施工アンカーの材質及び寸法: (4)外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質: 厚さ 石裏面処理 目地幅 備考	2壁の石張り工法 (10.3.2)(10.4.2) (10.5.2) (10.2.2) (10.2.3)	3床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	4特殊部位の石張り(10.7.1) (10.7.2)(10.7.3)																																																											
材料	厚さ	種別	備考																																																																											
8材料試験等 (7.2.10)	引張りを受ける材料の試験等: ・実施する【図示()】	⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・ECP工事	1補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.4) (8.2.5)	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋	2コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋 塀の場合の化粧ブロックの有無:【・有り ・無し】	(1)パネルの種類等 パネルの種類 単位荷重 厚さ 長さ 構法	(2)床パネルの耐火性能:【・1時間 ・2時間】 (3)外壁パネル構法の場合の伸縮調整目地の目地幅:【・図示 ・()mm】 (4)耐火目地材の適用:【・適用する ・適用しない】	パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付工法																																																																					
9仮組(7.3.10)	仮組の実施:【・実施する ・実施しない】													⑧コンクリートブロック・ALCパネル・ECP工事						3ALCパネル (8.4.2)～(8.4.5) (表8.4.2) (表8.4.3)	パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付工法																																																									
10溶接 (7.6.3)(7.6.4) (7.6.7)(7.6.12)	開先の形状 エンドタブの有・無及び適用箇所 スカラップの形状 溶接部の試験									4押出成形セメント板(ECP) (8.5.2)～(8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)	パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付工法																																																																			
11塗料の種類 (7.8.4) (表18.3.1)	錆止め塗料の種別:【・A種 ・B種】																																																																													
12耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2)(7.9.3)	種類 所要性能及び概要箇所																																																																													
13その他(7.11.2) (7.12.5)	(1)軽量鋼構造におけるボルトの接合方法: (2)溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理:【・ブラスト処理 ・ブラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法:																																																																													
⑧コンクリートブロック・ALCパネル・ECP工事	1補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.4) (8.2.5)	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋	2コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋 塀の場合の化粧ブロックの有無:【・有り ・無し】	(1)パネルの種類等 パネルの種類 単位荷重 厚さ 長さ 構法	(2)床パネルの耐火性能:【・1時間 ・2時間】 (3)外壁パネル構法の場合の伸縮調整目地の目地幅:【・図示 ・()mm】 (4)耐火目地材の適用:【・適用する ・適用しない】	パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付工法	4押出成形セメント板(ECP) (8.5.2)～(8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)	パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付工法																																																																					
工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事	工事年度	令和 4 年度(繰越)	工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他	図面名称	建築工事特記仕様書(その3)	発注機関	沖縄県中央児童相談所	縮 尺		摘 要	図面番号	A-03	検 印	管理建築士 設 計 製 図 名 称 株式会社 宮平設計 資格者氏名 徳村 泉 登録番号 1級建築士事務所登録第144-33号 1級建築士(大邸)第350160号 所 在 地 沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号																																																														

⑬左官工事
へ続き

4 仕上塗材仕上げ(15.6.2)
(表15.6.1)

5 マスチック塗料塗り(表15.7.2)

6 せっこうプラスター塗り(15.8.2)(15.8.3)

7 しっくい塗り(15.10.2)

8 ロックウール吹付け(15.12.3)

種類	呼び名	仕上の形状・工法等

工程	種別	塗料その他

(1) 下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター・既調合プラスター(下塗り用)・現場調合プラスター(下塗り用)

(2) 上塗り:・既調合プラスター(上塗り用) ・しっくい塗り

(1) しっくい:・現場調合材料 ・既調合材料()

仕上り厚さ:

⑮建具工事

1 防火戸等(16.1.3)(16.1.6)

2 見本の製作等(16.1.4)

③アルミニウム製建具(16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表14.2.1)(表16.2.1)

4 樹脂製建具(16.3.2)(16.3.3)(16.3.4)(16.3.5)(表16.3.1)(表16.3.2)(表16.3.3)(表16.3.4)

5 鋼製建具(16.4.2)

6 鋼製軽量建具(16.5.2)(16.5.3)(表16.2.1)

7 ステンレス製建具(16.6.2)(16.6.3)

⑧木製建具(16.7.2)(16.7.4)

(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。

(2) 防犯建物部品の適用は、図示による。

(1) 建具見本の製作:【・行う ・行わない】

(2) 特殊な建具の仮組:【・実施する ・実施しない】

④建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所
	S-6	A-4	W-5		

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・防音ドアセット			
・断熱ドアセット			
・耐震ドアセット			

⑨外部に面する建具の表面処理の種別及び複合皮膜の種類

種別: B-1

複合皮膜の種類:【・A1 ・A2】(JIS H 8602)

(4) 結露水の処理方法:

⑤水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・防音ドアセット			
・断熱ドアセット			

(3) 表面色:

(4) 水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。

(5) ガラス: ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・

(6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【・】

(1) 建具の性能等

施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・簡易気密型ドアセット			

(3) 鋼板の種類:【・JIS G 3302 ・JIS G 3317】

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・簡易気密型ドアセット			

(3) ビニル被覆鋼板:【・使用する ・使用しない】

(4) カラー鋼板の適用:【・使用する ・使用しない】

(1) 建具の性能等

施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)

(2) 表面仕上げ:【※HL ・バイブレーション ・鏡面 ・】

(1) かまち戸

かまちの樹種: 、鏡板の樹種:

(2) ふすま

上張りの種類: 、縁の仕上げ:

⑨建具用金物(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)

⑩鍵(16.8.4)

11 自動ドア開閉装置(16.9.3)(表16.9.4)

12 シャッター(16.11.2)(16.12.2)(16.12.4)

13 オーバーヘッドドア(16.13.2)

⑭ガラス(16.14.2)(16.14.4)(16.14.5)

17 カーテンウォール工事

⑮塗装工事

⑯内装工事

①建具用金物の材質、形状及び寸法

形式	金物の種類	見え掛け部の材質	備考

(2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。

①マスターキー:【①製作する ・製作しない】

(2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。

(1) 戸の開閉方法:【・引戸 ・開き戸 ・折戸】

(2) センサーの種類:

(1) シャッターの種類:【・重量() ・軽量】

(2) 耐風圧強度:

(3) 開閉機能:【・手動式 ・電動式】

(4) 重量シャッターの場合のシャッターケース:【・設ける ・設けない】

(5) スラットの形式:【・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形】

(1) 耐風圧性能の区分:

(2) 開閉機能:【※バランス式 ・チェーン式 ・電動式】

(3) 収納形式による区分:

(1) ガラスの種類及び厚さ等

ガラスの種類	厚さ等	備考
図示		

(2) ガラス留め材

建具の種類	材種

(3) 熱線反射ガラスの映像調整:

(4) ガラスブロックの材料及び工法

表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー

(1) カーテンウォールの種類:【・メタル ・PC】

(2) 性能

耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性

(3) 材料の種類

金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	構造ガasket

(4) 先付け材料:【・建具枠 ・ゴンドラ用がイトレール ・】

仕様等については、図示による。

(5) メタルカーテンウォール製品の見え掛け部分の仕上げ:

(6) PCカーテンウォールの仕上げ:

(7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け:

塗装面

素地ごしらえ工程の種別	塗料の名称・種類	塗装工程の種別	施工箇所
		図示	

防火材料の指定【・有 ・無】

(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。

(2) 保証期間は、工事完成後【10 】年間とする。

1 ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3)

①塗装の種類及び種別(18.1.7)(18.2.2)-(18.13.2)

②保証

①ビニル床シートの材料及び工法

施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用
				・有り ・無し
				・有り ・無し

(2) ビニル床タイル、ゴム床タイル

施工箇所	種類(・形状)	厚さ等

(3) 特殊機能床材の適用:

【・帯電防止床シート又は床タイル ・視覚障害者用床タイル ・耐動荷重性床シート ・防滑性床シート又は床タイル】

施工箇所	種類(・形状)	厚さ等
床(図示)		2.5

施工箇所

カーベットの種類・種別	厚さ	パイル形状等	工法
床	タイルカーベツ	3.5	・グリッパー ・全面接着
			・グリッパー ・全面接着

(1) 帯電性の適用【・有り ・無し】

(2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。

②カーベツ敷き(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)(表19.3.2)

3 合成樹脂塗床(19.4.3)

4 フローリング張り(19.5.2)(19.5.3)

5 フローリングボードの特殊張り

6 畳敷き(19.6.2)

⑦せっこうボード、その他ボード及び合板張り(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.5)

⑧壁紙張り(19.8.2)

⑨断熱及び防露(19.9.3)(19.9.4)

⑳ユニット及びその他工事

エポキシ樹脂系塗床の仕上の種類:

施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)

体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。

(1) 畳の種別【・A種 ・B種 ・C種 ・D種(種別:)】

(2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。

(1) せっこうボード

規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類
			図示	

(2) 合板の種類

合板の名称	施工箇所	その他の仕様
		※図示(A-)による。

※合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。

(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【・】

品質及び防火性能:【 】

断熱材の種類及び厚さ:【グラスウール 24kg/m³ 】

①フリーアクセスフロア(20.2.2)

施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗
図示		50				

②可動間仕切(20.2.3)

③移動間仕切(20.2.4)

④トイレブース(20.2.5)

⑤手すり(20.2.6)

6 階段滑り止め(20.2.6)

7 ブラインド(20.2.14)

8 ロールスクリーン(20.2.15)

9 カーテン(20.2.16)

10 間知石及びコンクリート間知ブロック積み(20.4.2)(20.4.3)

11 くつふきマット

②流し台ユニット

(1) 手すり

【・SUS304 (表面処理 ・ ※HL程度)

①鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき

(※標準仕様書表14.2.2による種別(・ 種))

・】

材種

形状

寸法

備考

形式

種類

スラットの材質

スラットの幅

施工箇所

操作方式

幅及び高さ

材種

品質等

施工箇所

形式

開閉操作

きれ地の種別等

施工箇所

備考

(1) 間知石

材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所
			図示【A- 】

(2) コンクリート間知ブロックの適用がある場合の種類及び質量区分:【・】

(1) くつふきマットの材種:【・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製】

(2) 受け枠の材種:【・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製】

名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考
	L=1500			

⑳排水工事

22舗装工事

23植栽及び屋上緑化工事工事

1 排水管(21.2.1)

②側塊、排水枅等(21.2.1)

3 基床(21.2.2)

4 街きよ、縁石及び側溝(21.3.1)

1 路床(22.2.2)(22.2.3)(22.2.5)(表22.2.1)

2 路盤(22.3.2)(22.3.5)

3 アスファルト舗装(22.4.2)(22.4.4)(22.4.5)

4 コンクリート舗装(22.5.2)

5 カラー舗装(22.6.2)

6 透水性アスファルト舗装(22.7.2)

7 ブロック系舗装(22.8.1)

1 植栽地の確認(23.1.3)(23.2.2)(23.2.3)

2 植樹(23.3.2)-(23.3.4)(23.3.6)

3 芝張り等(23.4.2)

4 屋上緑化(23.5.2)(23.5.3)(23.5.4)

(1) 側塊

形状	寸法	備考

②排水枅

種類	適用荷重	備考
図示		

(3) グレーチング

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考

(4) 地業の材料:【 】

基床の厚さ及び種類:図示による。

コンクリート縁石及び側溝

名称	規格名称	形状	寸法等	備考

(1) 路床の種類等

層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験

(2) ジオテキスタイルの適用及び品質:

(1) 路盤の厚さ:【 】

(2) 締固め度試験:【 】

(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-) ・】

(2) 加熱アスファルト混合物等の種類:【・密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13)】

(3) シールコートの適用:【・有り ・無し 】

(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-) ・】

(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-) ・】

(2) 種類:【・加熱系() ・常温系() 】

(3) 添加する着色骨材又は自然石【・図示による(A-) ・】

(4) その他【・】

構成及び厚さ:【・図示による(A-) ・】

(1) ブロック系舗装の適用:【・コンクリート平板舗装 ・インターロッキングブロック舗装 ・舗石舗装】

(2) 種類及び寸法等:【・図示による(A-) ・】

(3) ジオテキスタイルの適用及び品質:【 】

(1) 植栽地の土壌試験:

(2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。

(3) 土壌改良材:

(4) 植込み用土:

(1) 種類等

樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考
				整備範囲は図示による

(2) 新植樹木の枯補償の期間:【※1年 ・()年】

(3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年 ・()年】

(1) 芝の種類:コウライ芝

(2) 種子の種類及び量:

(3) 地被類

樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数

土壌層の厚さ

排水層の厚さ

樹木の樹種、寸法、数量

支柱の形式

かん水装置

※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。

※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。

工事名称

工事年度

令和 4 年度(繰越)

工事場所

図面名称

建築工事特記仕様書(その4)

発注機関

縮 尺

摘 要

図面番号

A-04

管理建築士

設 計

製 図

名 称

株式会社 宮平設計

検 印

資格者氏名

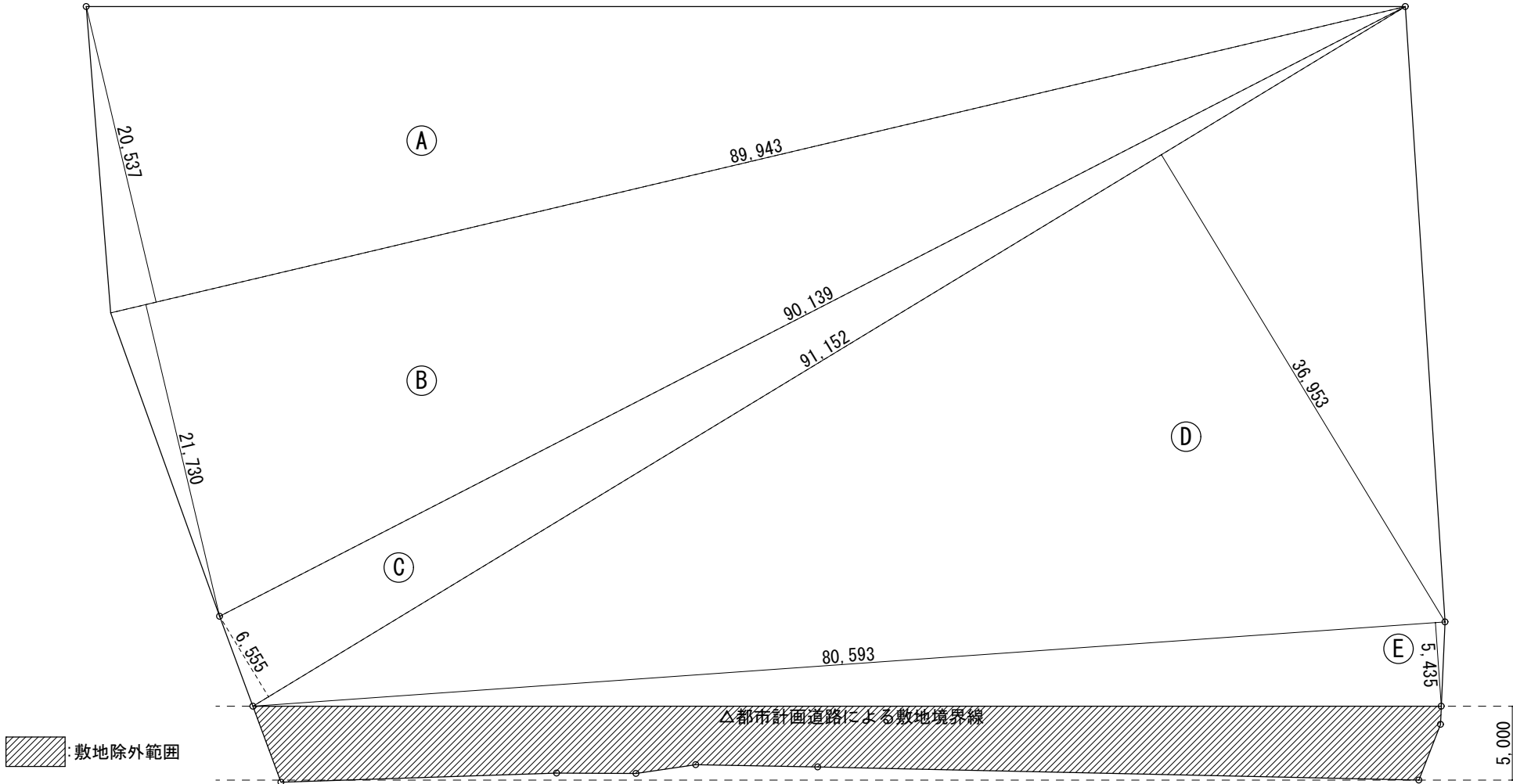
徳村 泉

登 録 番 号

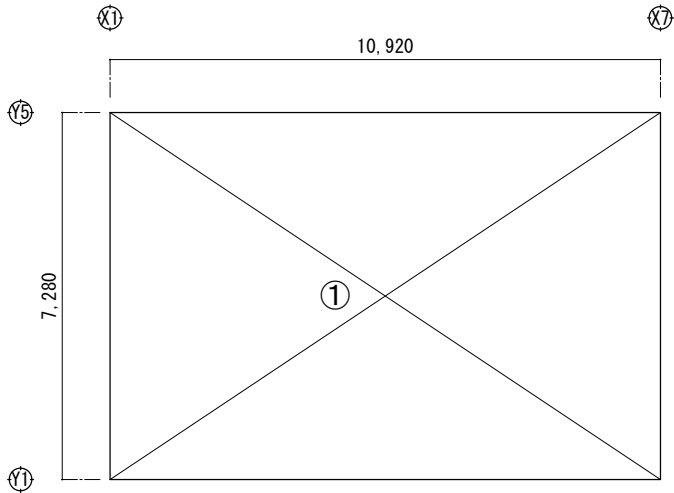
1級建築士事務所登録第144-33号
1級建築士(大田)第350180号

所 在 地

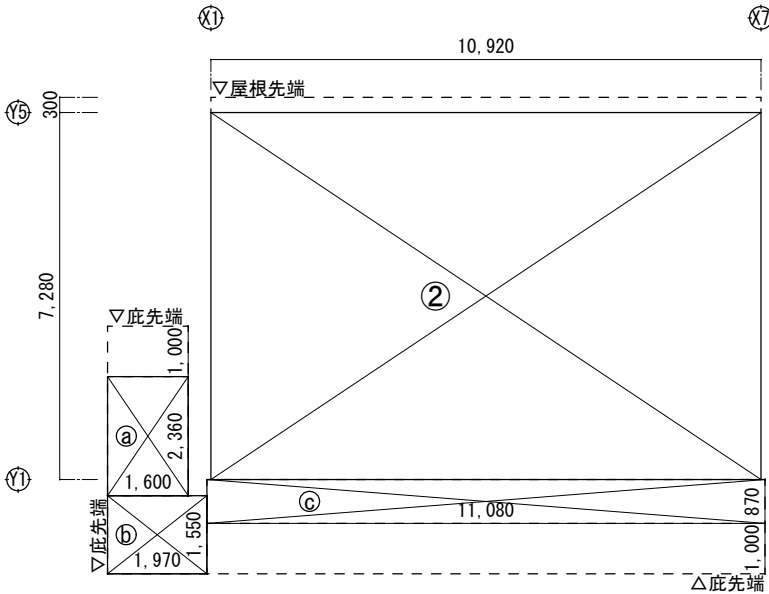
沖縄県那覇市首里山川町三丁目61番9号



敷地面積		
①	89,943 × 20,537 × 1/2	923.579㎡
②	89,943 × 21,730 × 1/2	977.230㎡
③	91,187 × 6,555 × 1/2	298.865㎡
④	91,187 × 36,902 × 1/2	1,682.491㎡
⑤	80,593 × 5,435 × 1/2	219.011㎡
合 計		4,101.176㎡



1 階求積図 S=1/100



2 階求積図 S=1/100

1 階床面積		
①	10,920 × 7,280	79.4976 ㎡
2 階床面積		
②	10,920 × 7,280	79.4976 ㎡
合 計		158.9952 ㎡

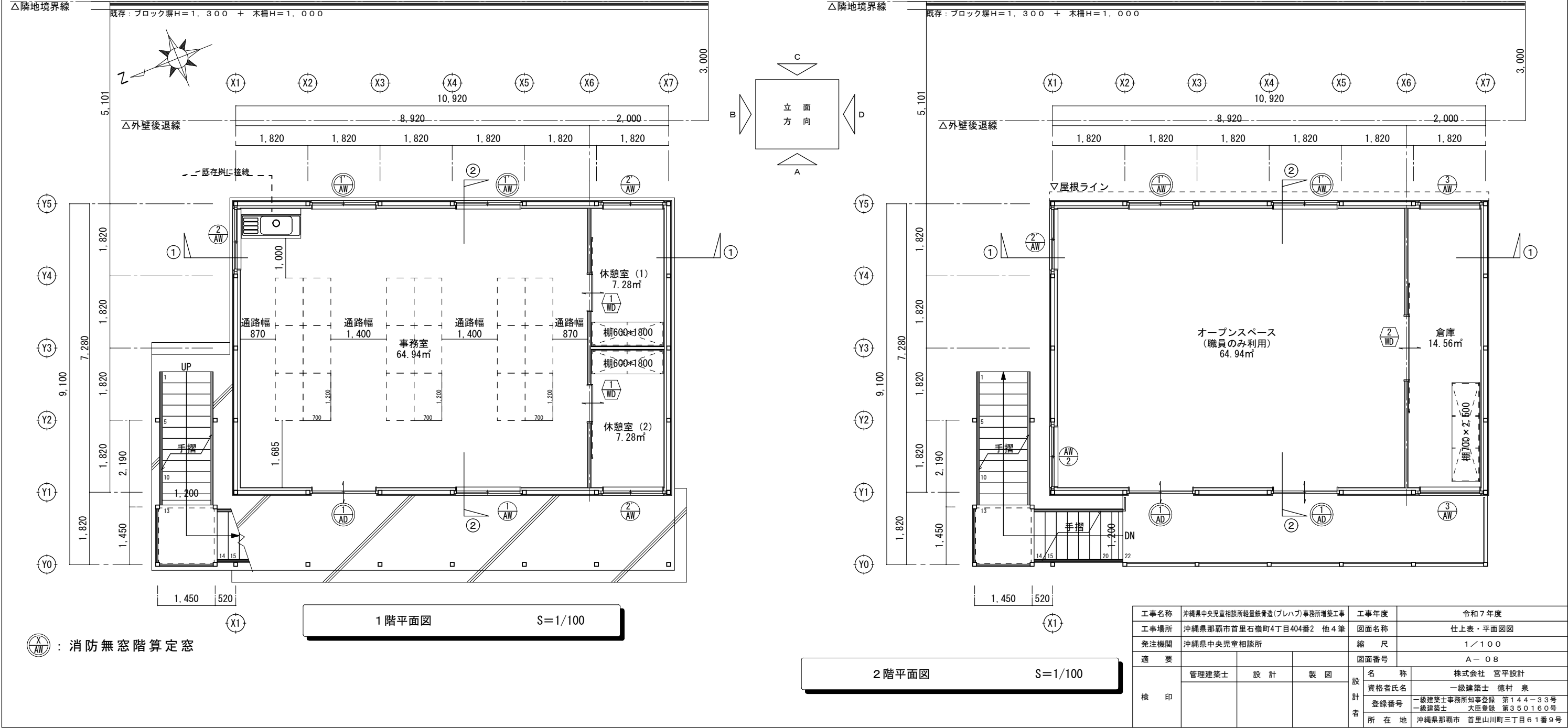
建 築 面 積		
①	10,920 × 7,280	79.4976 ㎡
a	1,600 × 2,360	3.776 ㎡
b	1,970 × 1,550	3.0535 ㎡
c	11,080 × 870	9.6396 ㎡
合 計		95.9667 ㎡

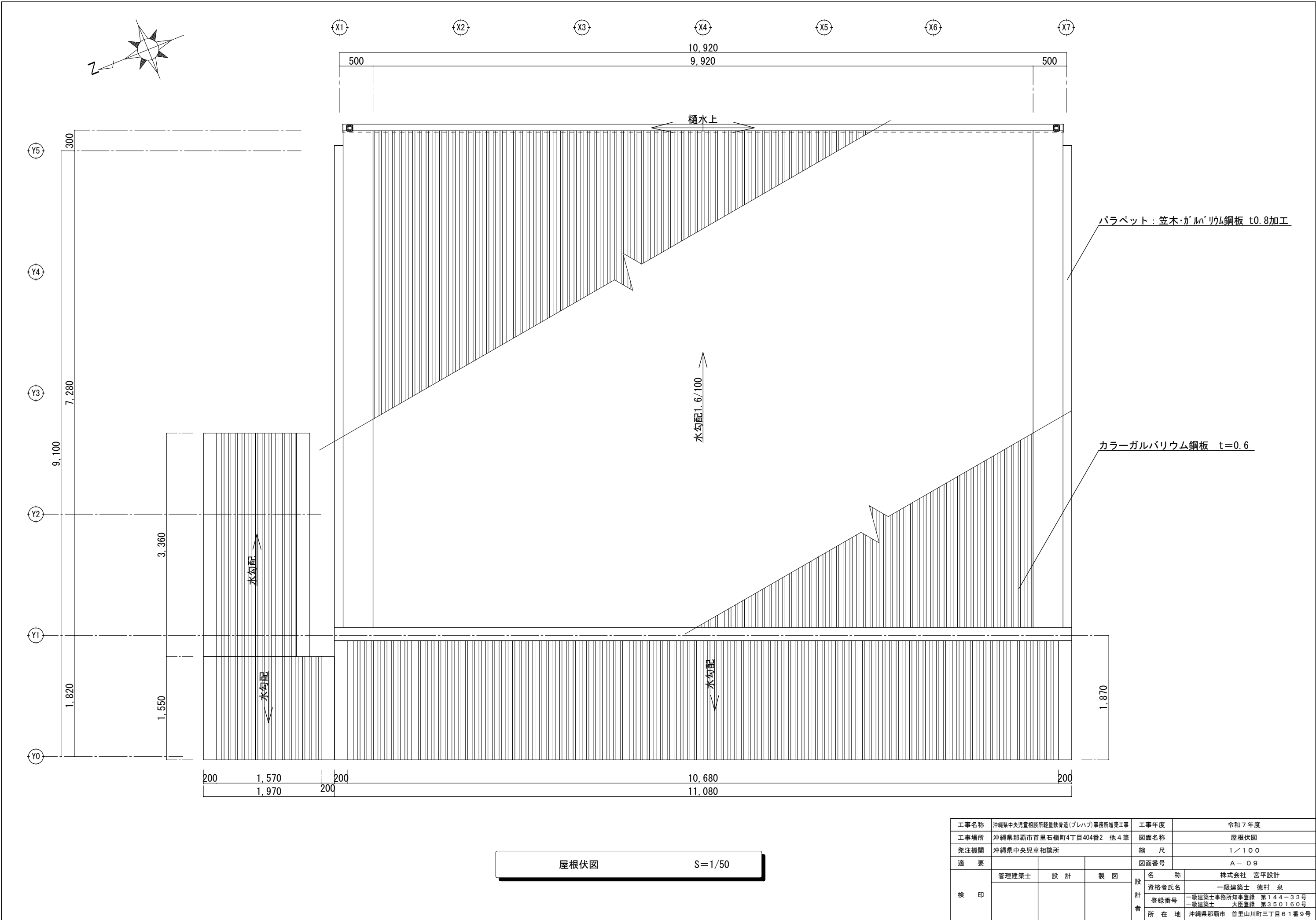
増築後 建築面積 床面積 一覧					
	既 設			今回増築	
	管 理 棟	保 護 所 棟	厨 房 棟	事 務 所 棟	
2階床面積	280.62 ㎡	171.00 ㎡	- ㎡	79.49 ㎡	531.12 ㎡
1階床面積	665.28 ㎡	395.34 ㎡	97.60 ㎡	79.49 ㎡	1,237.72 ㎡
床面積合計	945.90 ㎡	566.34 ㎡	97.60 ㎡	158.99 ㎡	1,768.83 ㎡
建築面積	774.19 ㎡	455.96 ㎡	123.93 ㎡	95.96 ㎡	1,450.04 ㎡

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	求積図・面積表	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	1／1000	
適 要				図面番号	A-07	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	

外 部 仕 上 表				
屋 根	カラーガルバリウム鋼板 t=0.6	外 壁	窯業系サイディングボードt=16mm（金具止め工法・横張り） 透湿防水シート	
	パラペット：笠木・ガルバリウム鋼板 t0.8加工 軒先樋、縦樋 75φ		鋼製胴縁 断熱材：グラスウール敷き込み (t=50・24kg/m3) ※外壁色は那覇市景観計画を遵守	
建 具	外部アルミサッシ仕様 見込み 70mm	板金金物	土台水切：t0.5 ガルバリウム鋼板	
外部階段	溶融亜鉛メッキの鋼材を使用	犬 走 り	土間コンクリートt=100 金鋲押え 誘発目地15×15@3,640程度 溶接金網φ3.2×150×150	

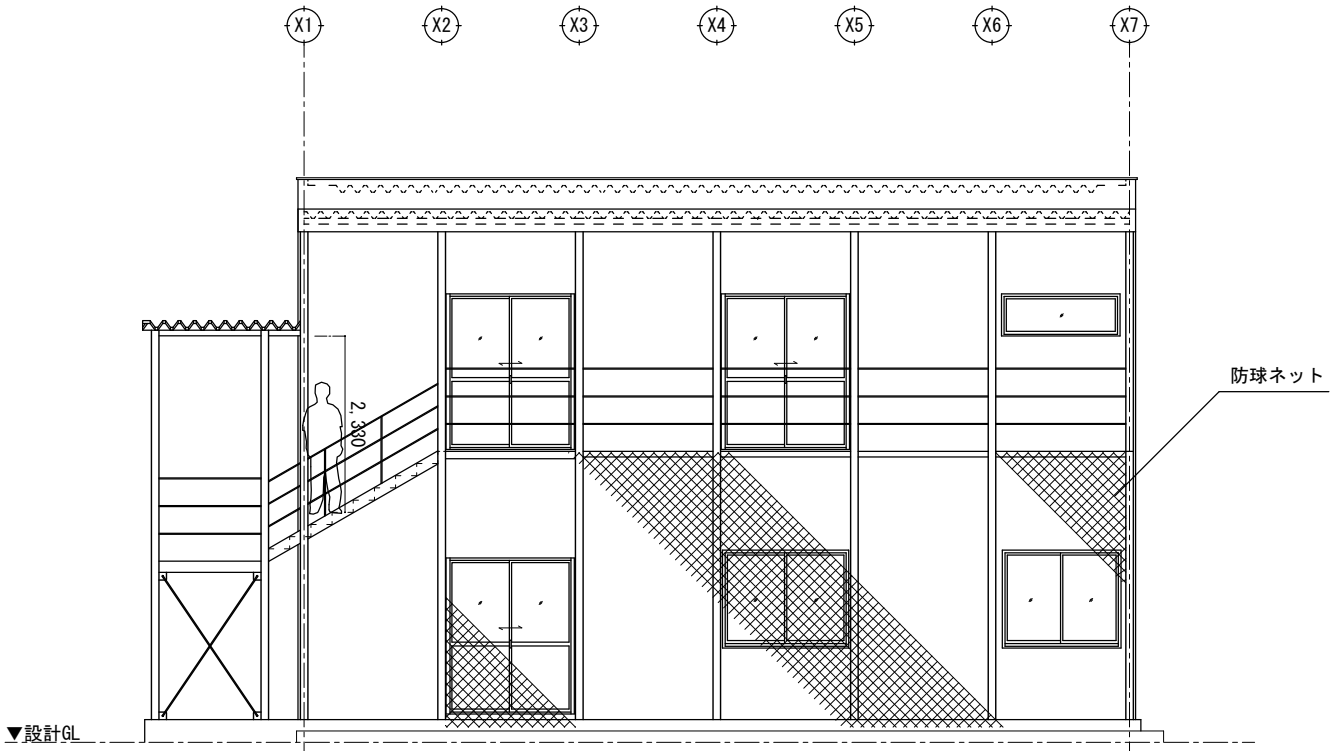
内 部 仕 上 表									
階	室 名	床	巾 木	H	壁	天 井	天井高	廻縁	備 考
2階	オープンスペース	構造用合板t=12の上、厚50mmOAフローア 厚3.5mmOAフロア用タイルカーペット張り	ソフト巾木	100	LGS下地の上 厚12.5mm石膏ボード張り ビニルクロス仕上げ 外壁側）厚50断熱材グラスウール 24kg/m³充填	厚9.5mm化粧石膏ボード張り 厚50断熱材グラスウール 24kg/m³充填	2,500	塩ビ製	
	倉 庫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	棚700*2500
1階	事 務 所	厚50mmOAフローア 厚3.5mmOAフロア用タイルカーペット張り	ソフト巾木	100	LGS下地の上 厚12.5mm石膏ボード張り ビニルクロス仕上げ 外壁側）厚50断熱材グラスウール 24kg/m³充填	厚9.5mm化粧石膏ボード張り	2,500	塩ビ製	W=1,500キッチン
	休憩室(1)(2)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	棚600*1800





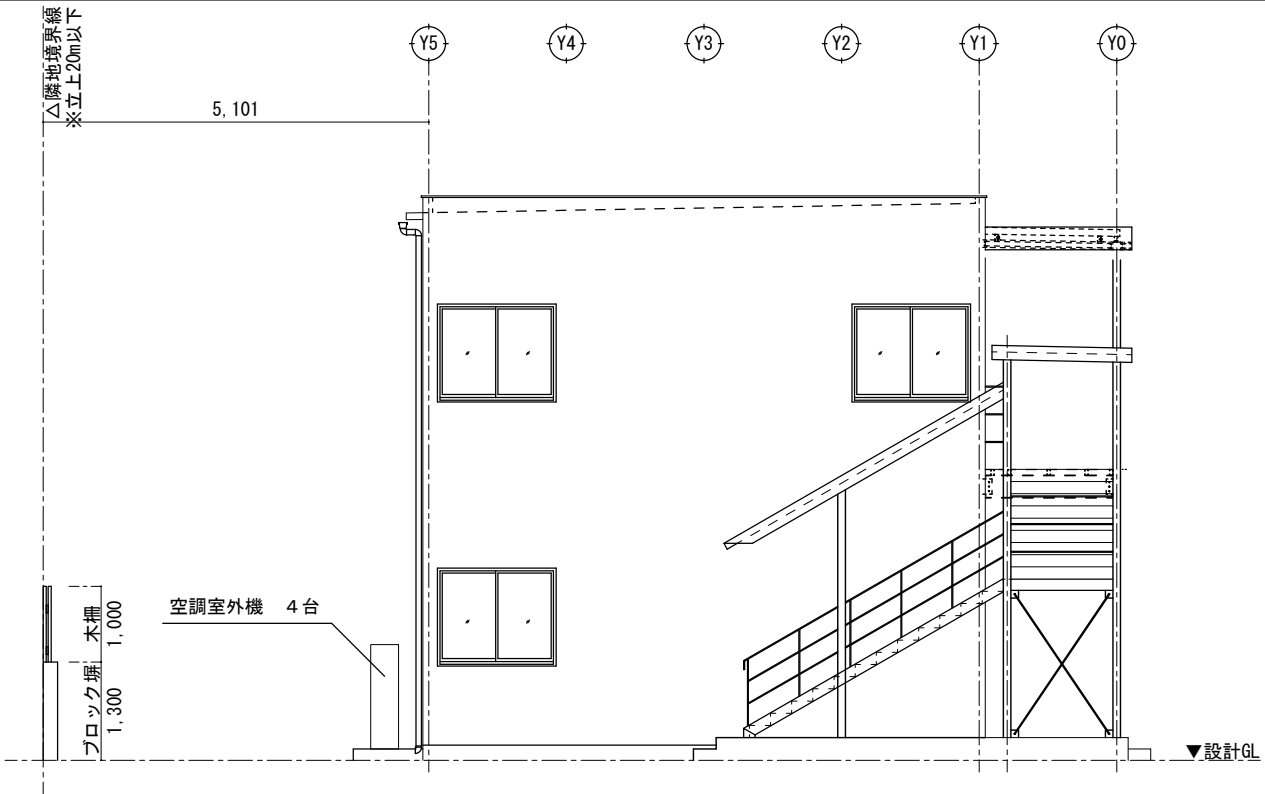
屋根伏図 S=1/50

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	屋根伏図	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮尺	1/100	
適要				図面番号	A-09	
検印	管理建築士	設計	製図	名称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所在地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	



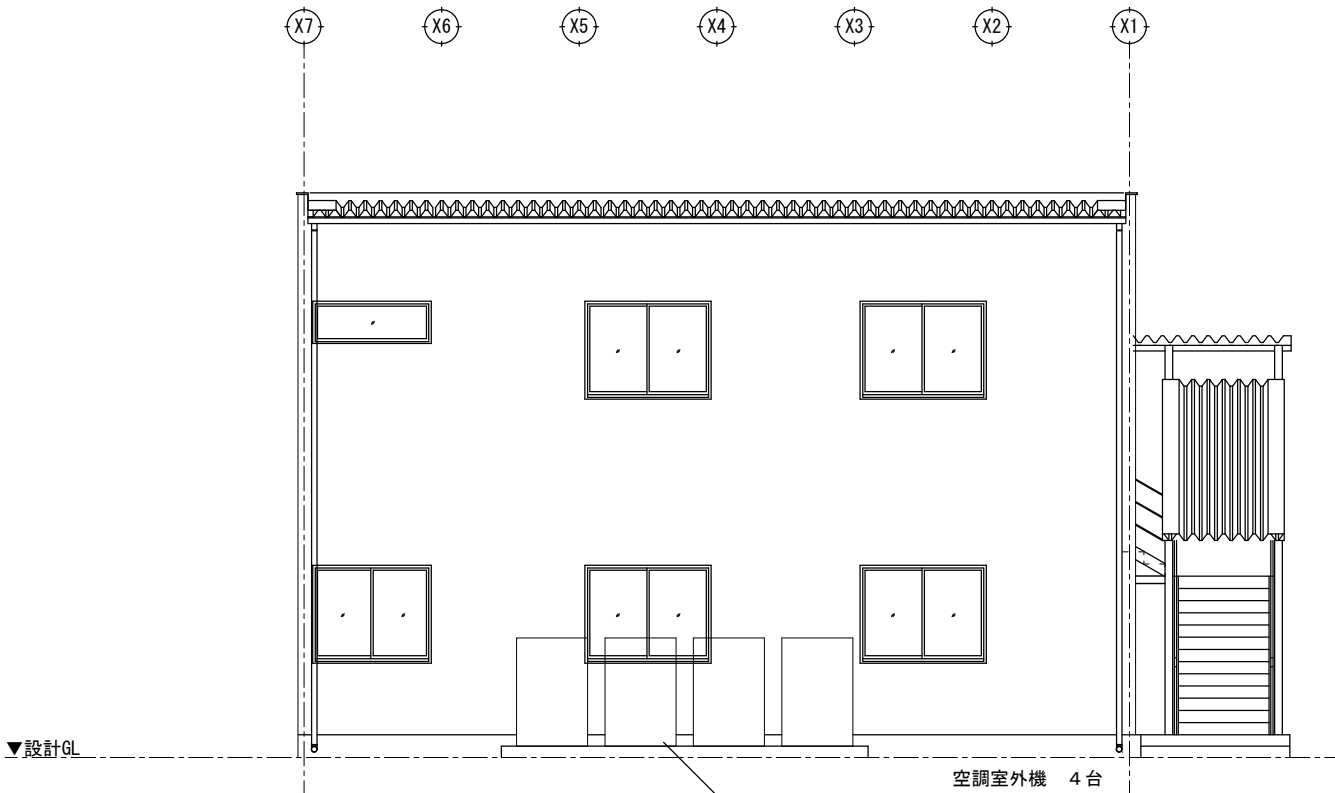
A 立面図

S=1/100



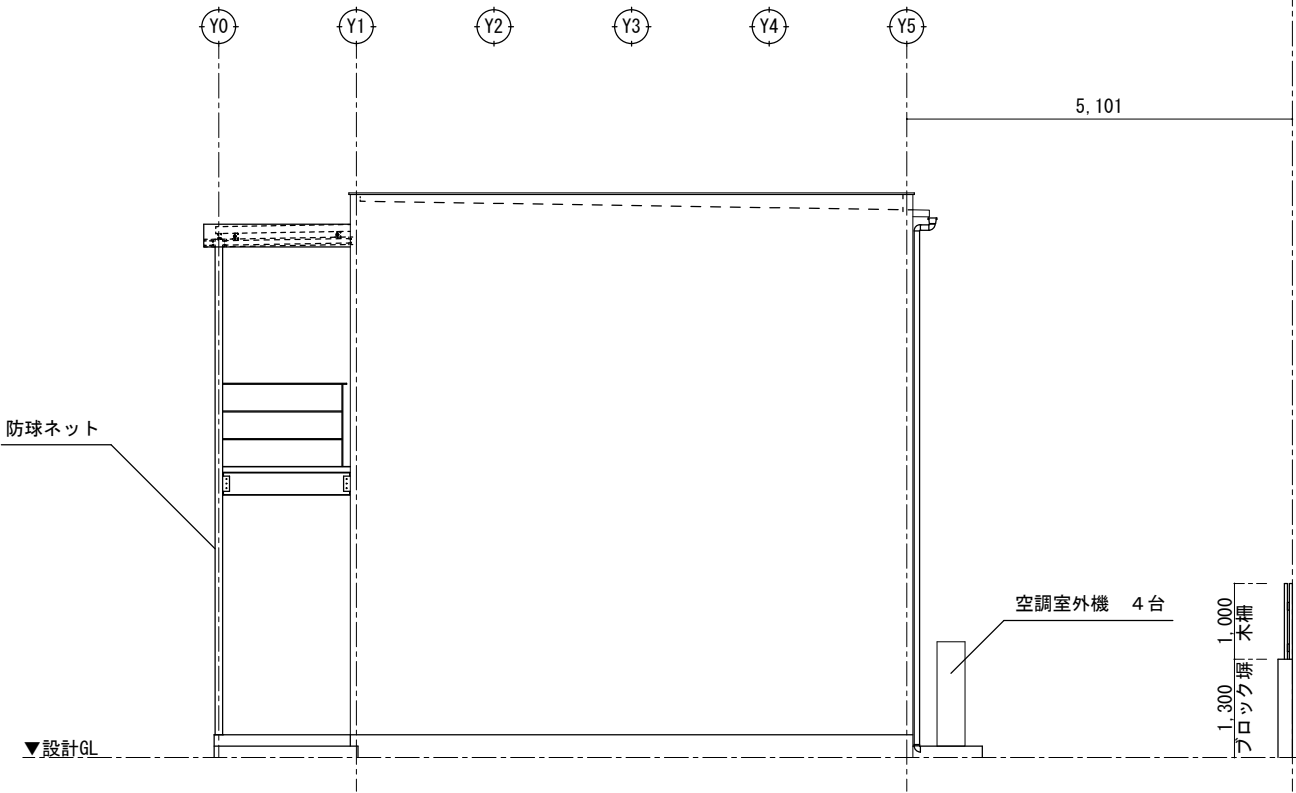
B 立面図

S=1/100



C 立面図

S=1/100



D 立面図

S=1/100

【特記事項】※外壁色彩について
住居系地域 低層建築物

	基調色 2	基調色 5
色相	7.5R～5Y	その他
明度	7.5以上	8以上
彩度	2以下 (YR系は3以下) N 7.5以上	2以下

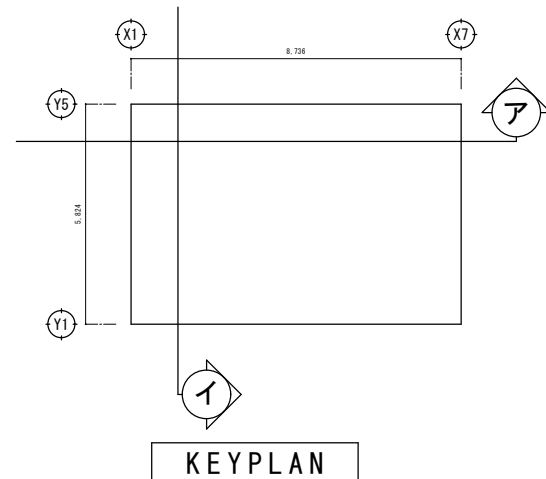
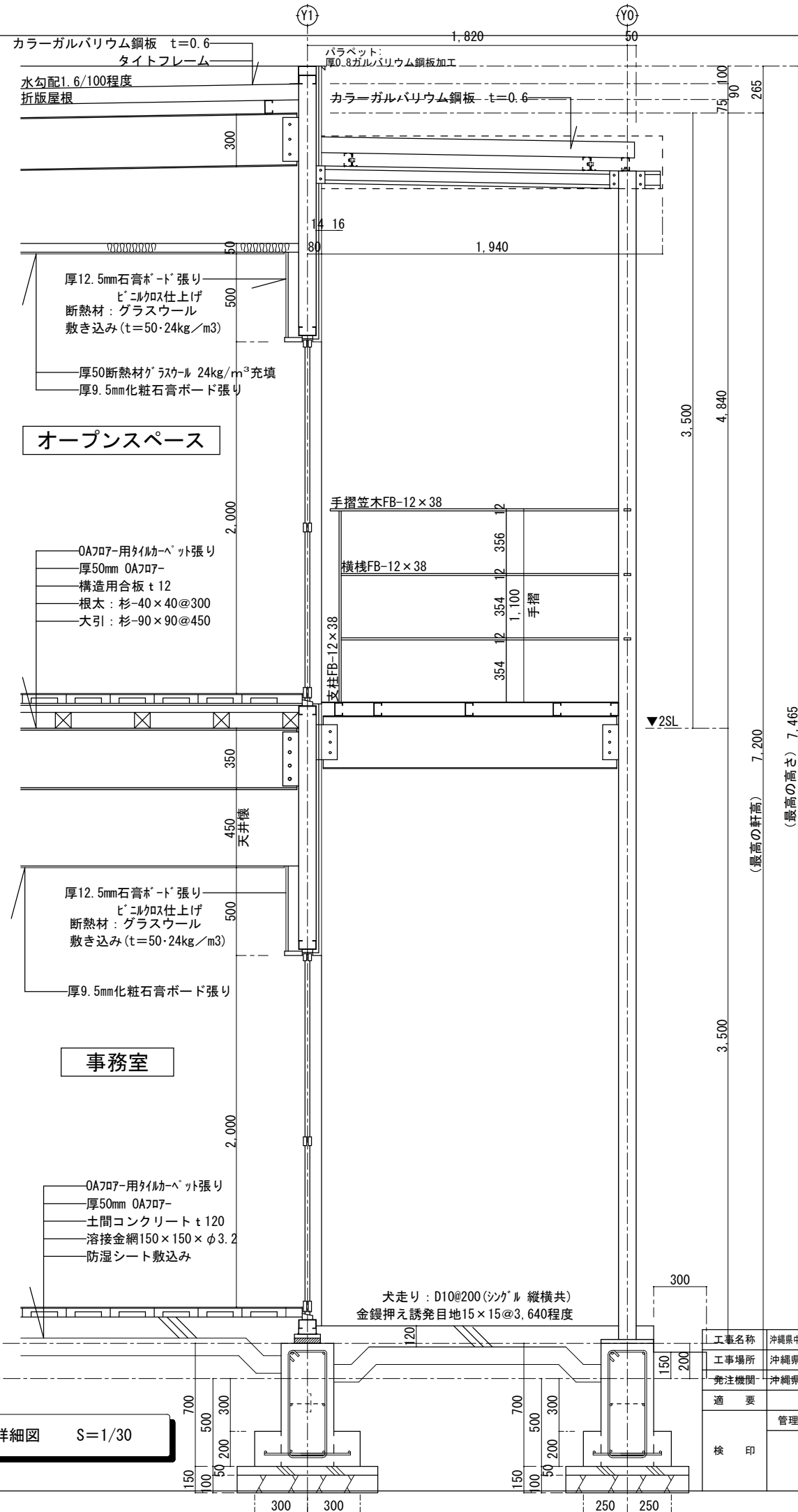
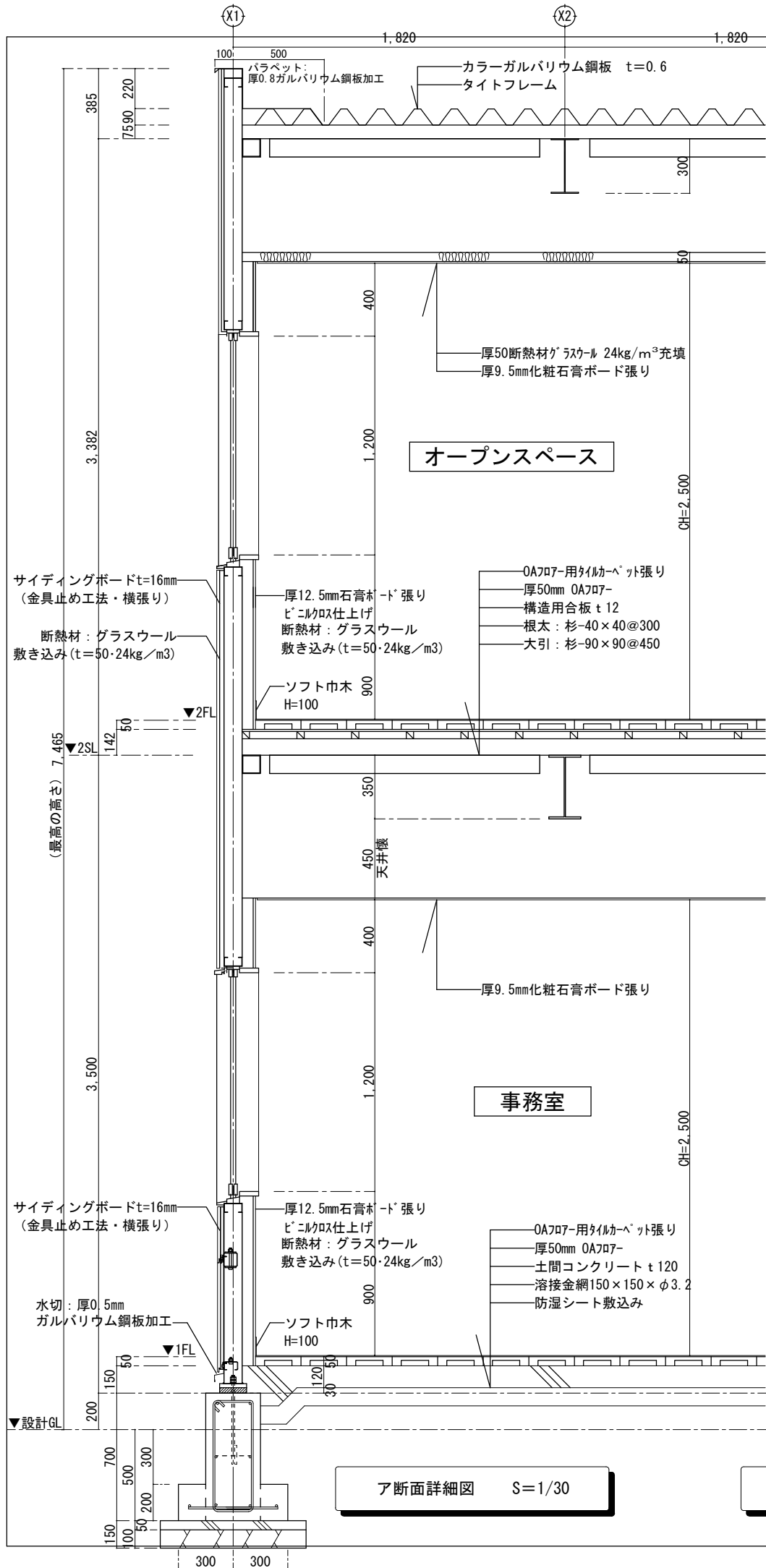
※外壁色是那覇市景観計画を遵守、上記基準内で選択する。

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	立面図	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	1／100	
適 要				図面番号	A-10	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	


$$S=1/100$$

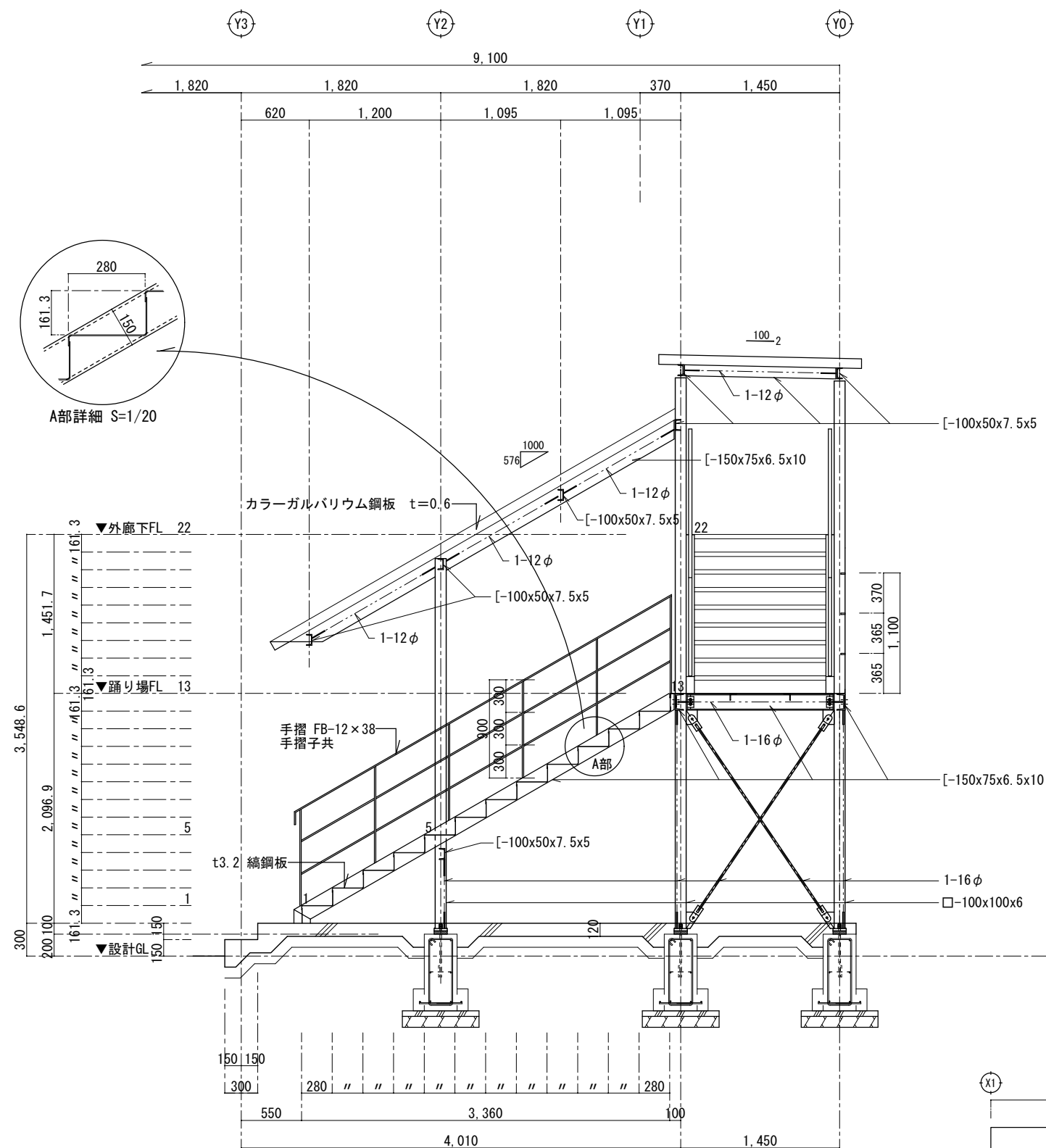
$$S=1/100$$

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	断面図	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	1/100	
適 要				図面番号	A-11	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設計者	名 称	株式会社 宮平設計
					資格者氏名	一級建築士 徳村 泉
					登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号
					所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号

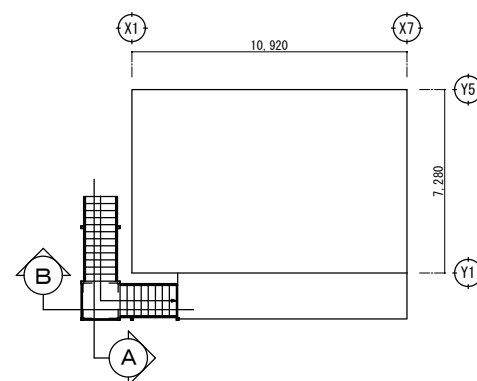


イ断面詳細 S=1/30

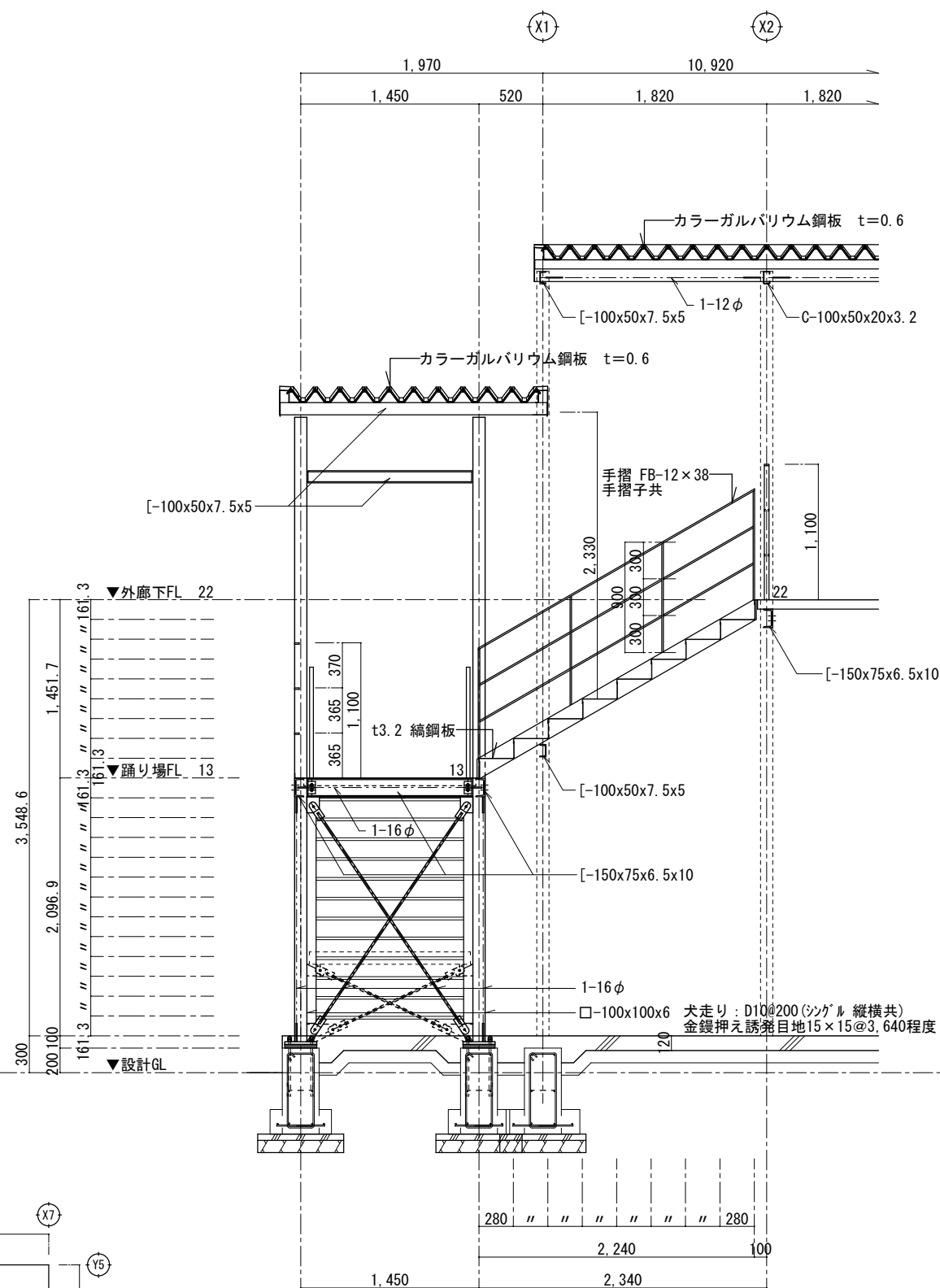
工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事	工事年度	令和7年度
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆	図面名称	断面詳細図-1
発注機関	沖縄県中央児童相談所	縮尺	1/30
適要		図面番号	A-12
検印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	株式会社 宮平設計	
	登録番号	一級建築士 徳村 泉	
	所在地	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号 沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	



A 階段断面詳細図 S=1/50

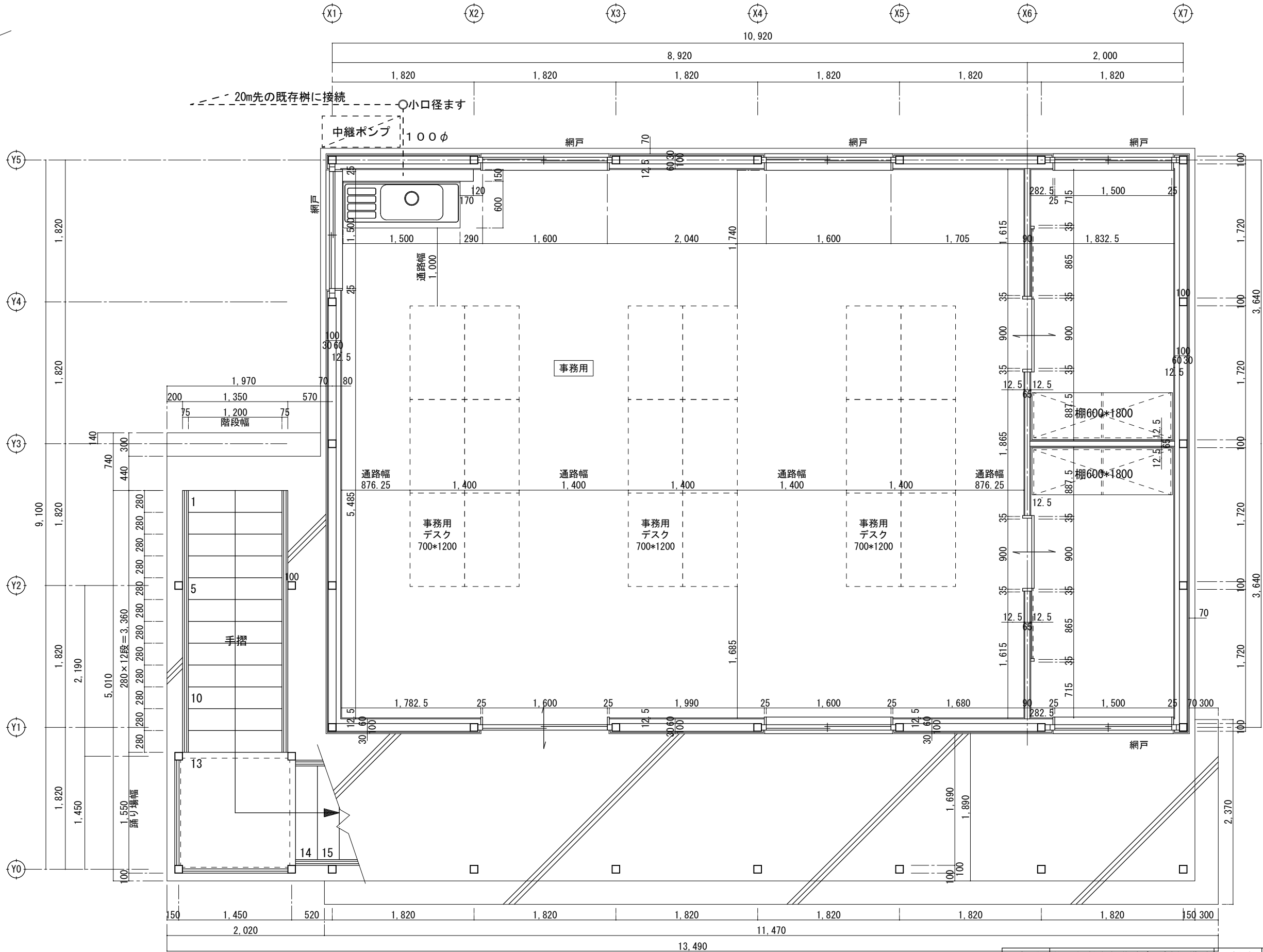
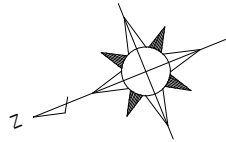


KEYPLAN



B 階段断面詳細図 S=1/50

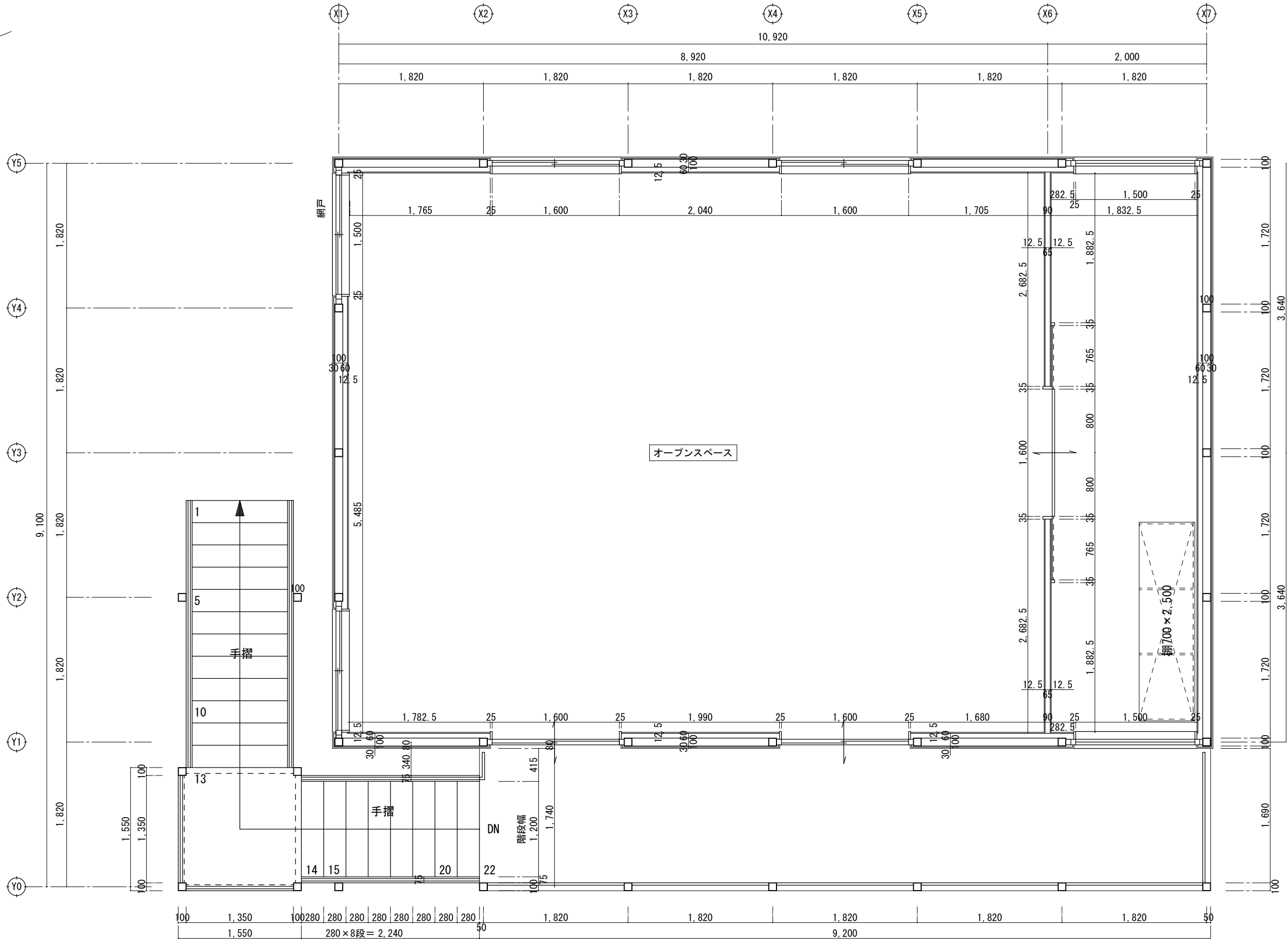
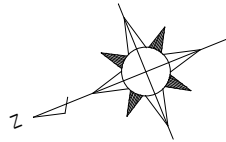
工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	階段詳細図	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮尺	1/50	
適要				図面番号	A-13	
検印	管理建築士	設計	製図	名称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所在地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	



1階平面詳細図

S=1/50

工事名称		沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事		工事年度	令和7年度	
工事場所		沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆		図面名称	平面詳細図-1	
発注機関		沖縄県中央児童相談所		縮尺	1/50	
適要				図面番号	A-14	
検印	管理建築士	設計	製図	名称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所在地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	

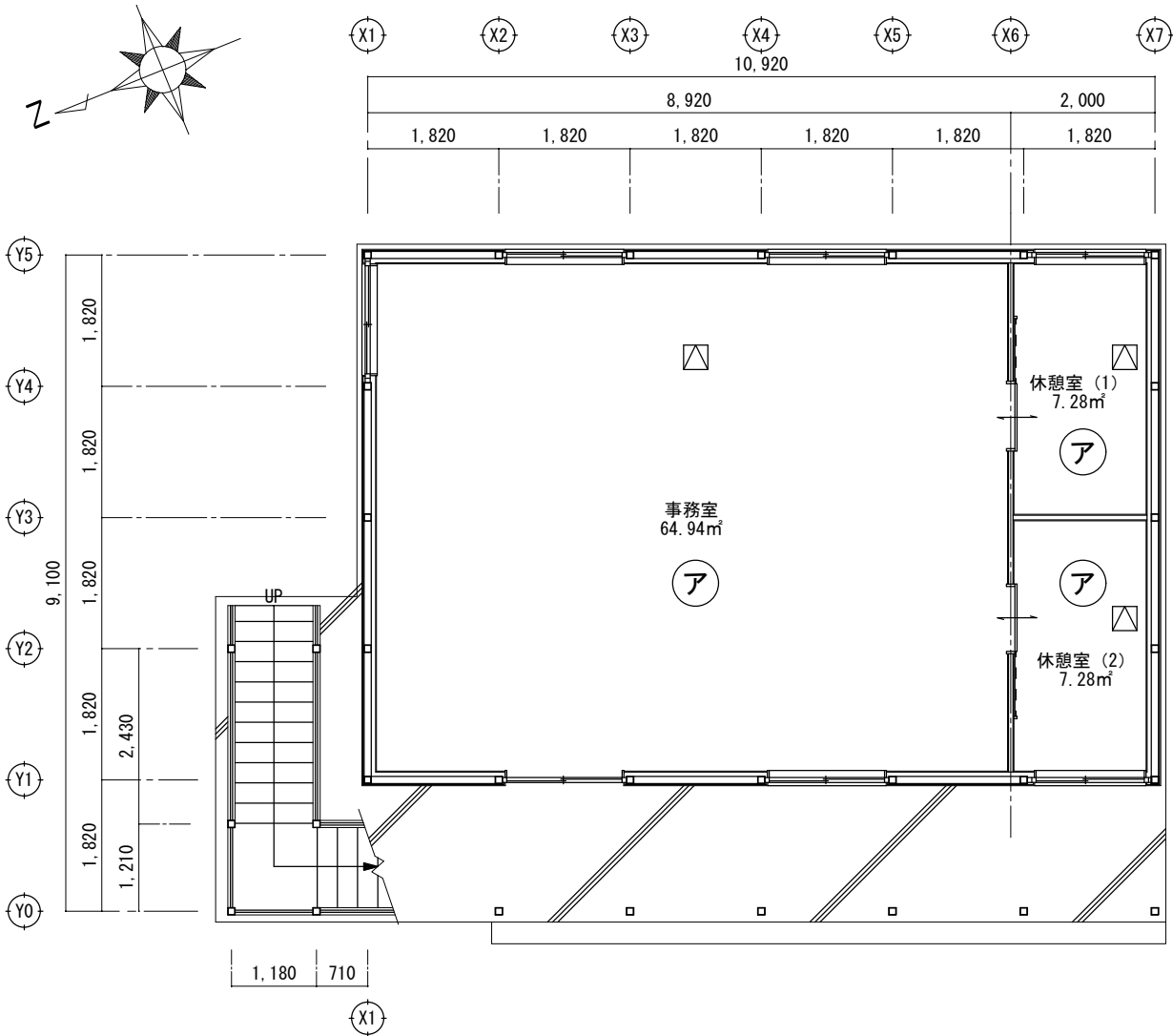


2階平面詳細図

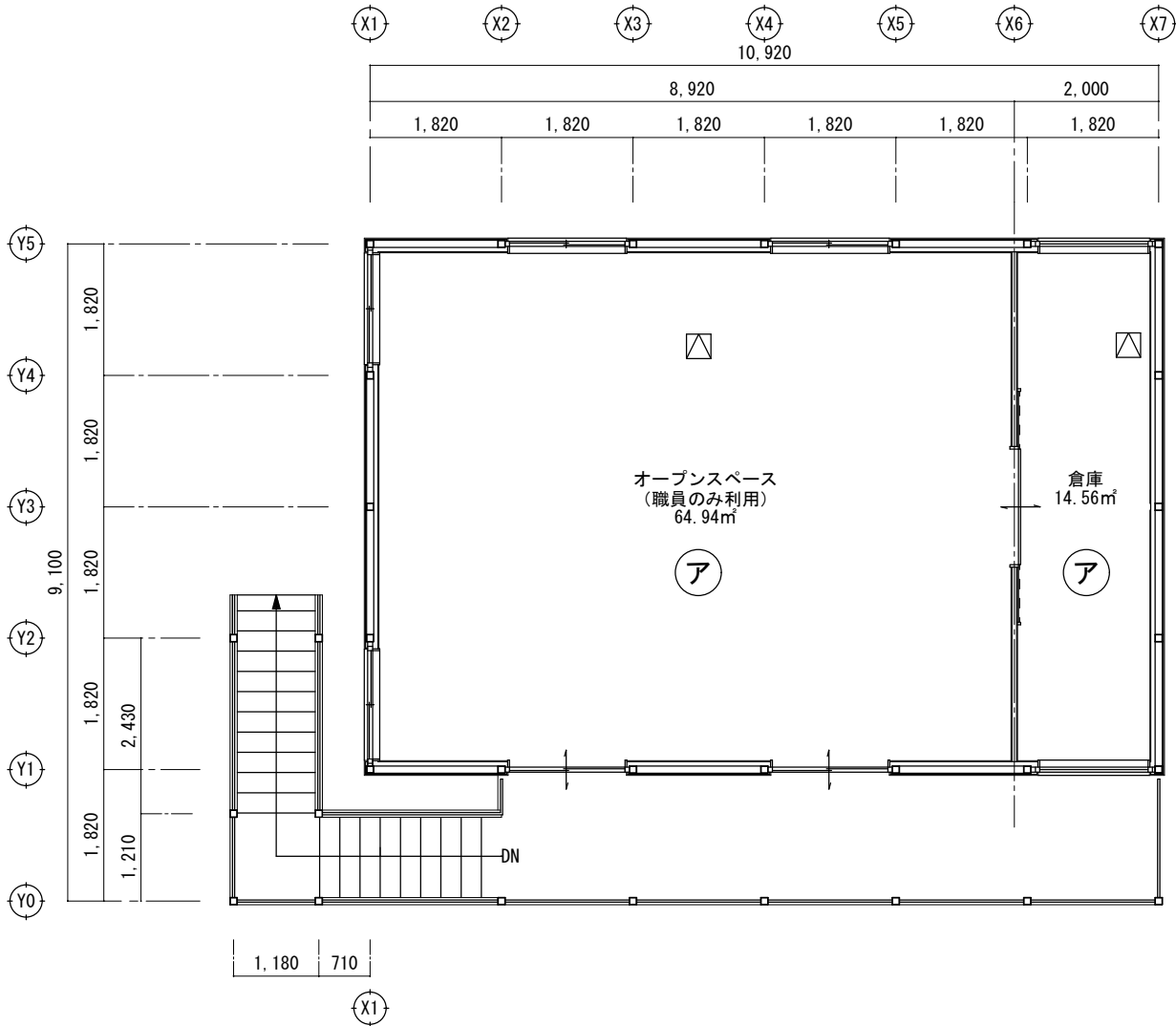
S=1/50

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	平面詳細図-2	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	1/50	
適 要				図面番号	A-15	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	

符号	仕 上	
ア	厚9.5mm化粧石膏ボード張り	
△	450角アルミ枠天井点検口、開口補強	5ヶ所



1階天井伏図 S=1/100

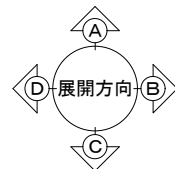
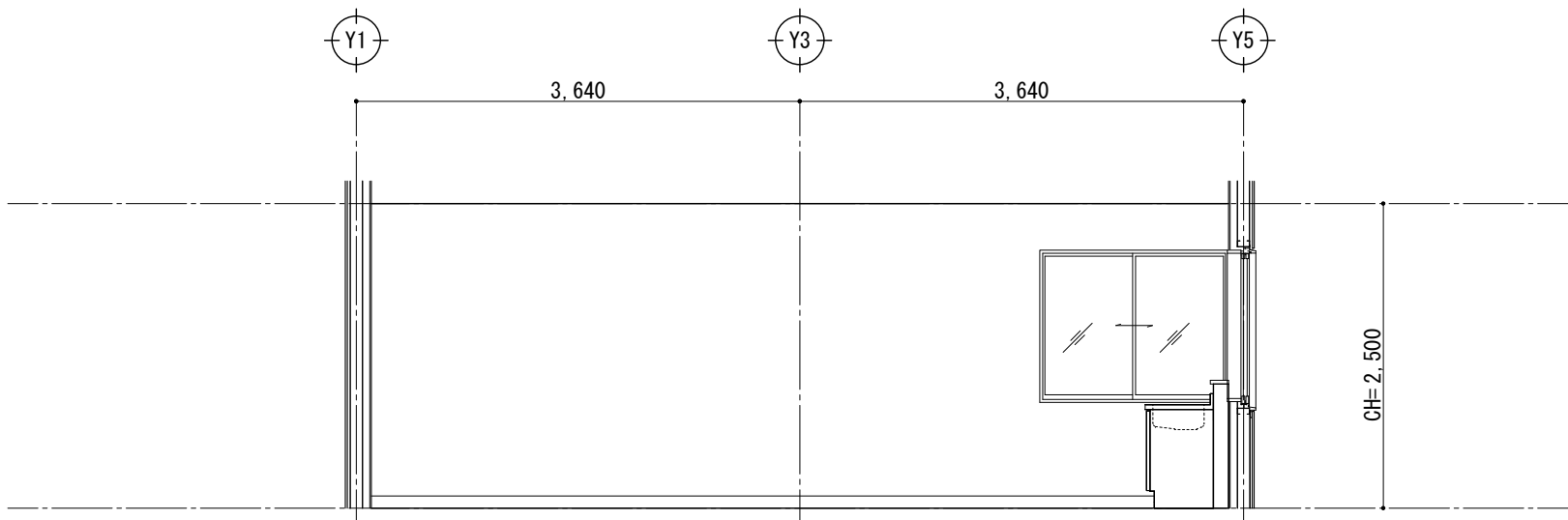
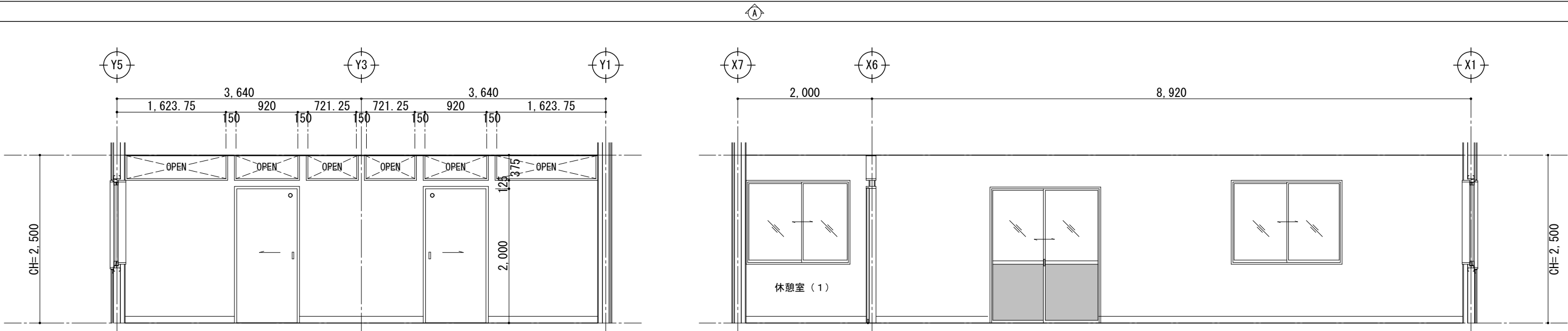
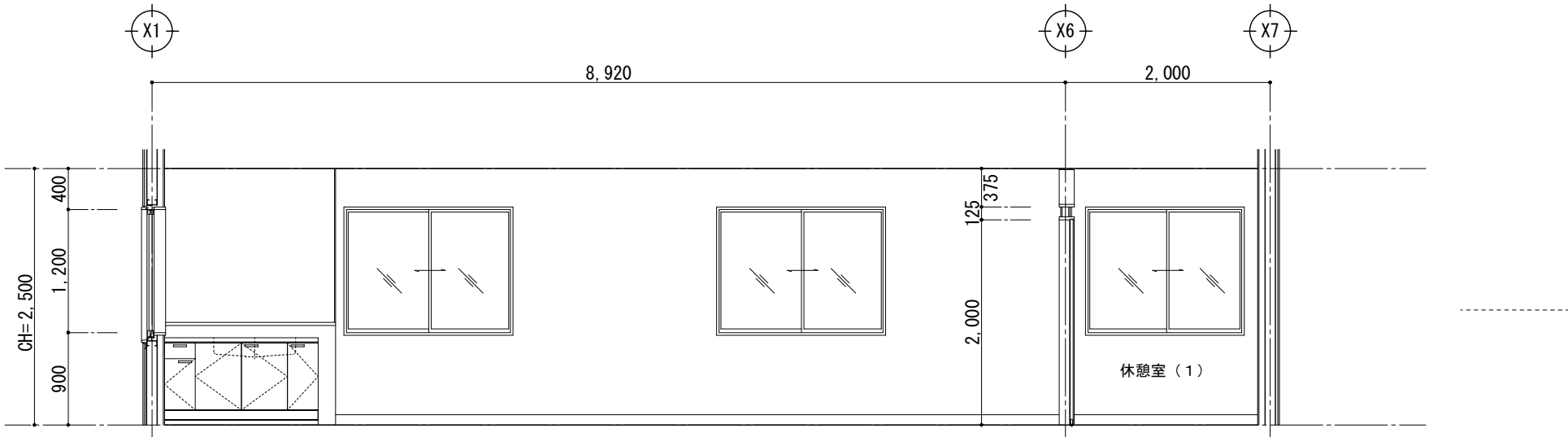


2階天井伏図 S=1/100

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	天井伏図	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	1／100	
適 要				図面番号	A-16	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	株式会社 宮平設計	
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
				所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	

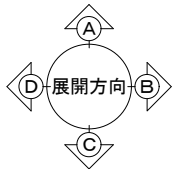
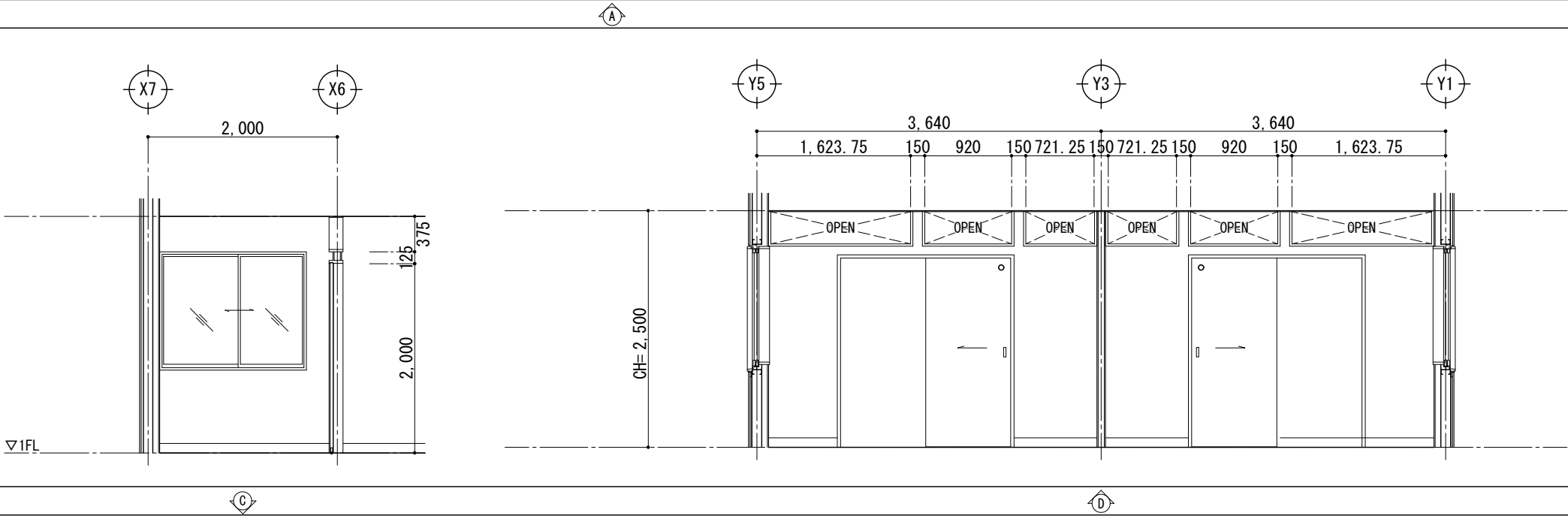
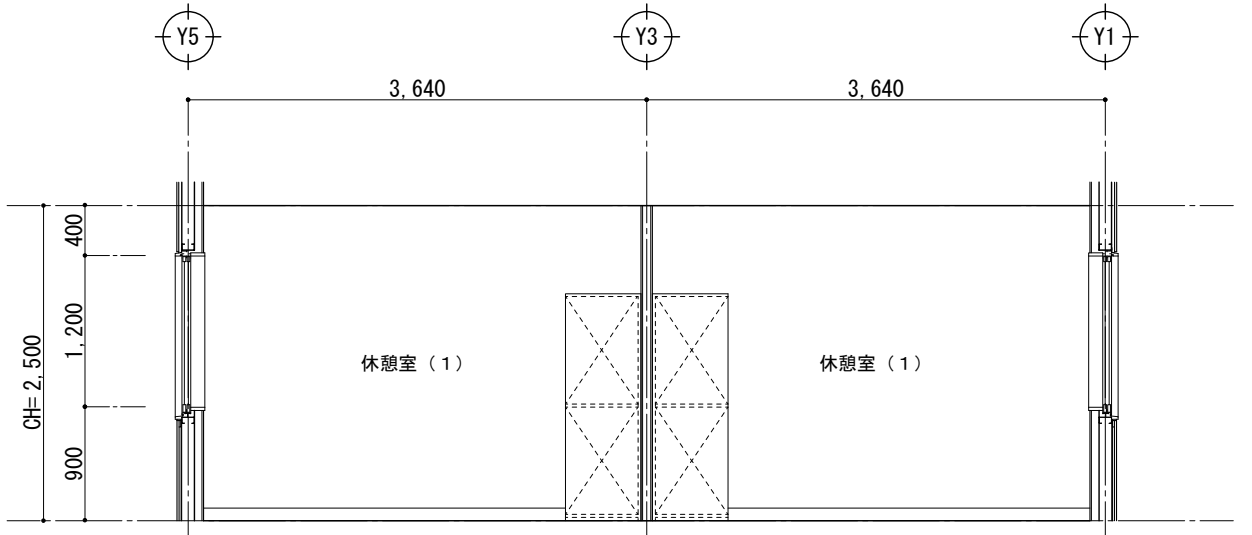
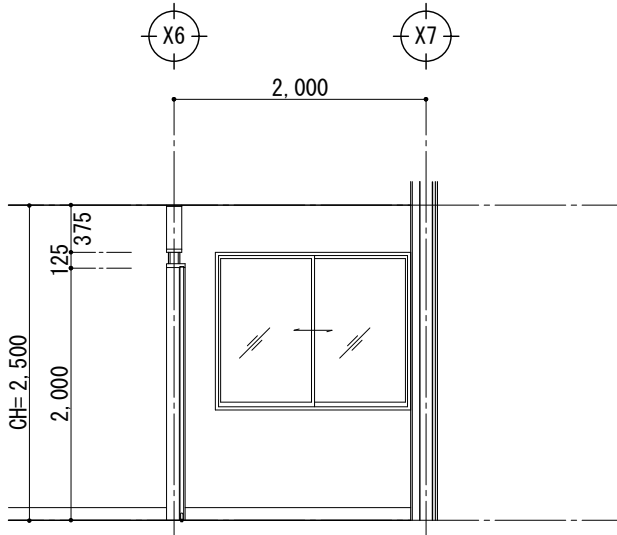
符号	室名	1AW 1. 事務室 2. 3.	1ヶ所		2ヶ所		2ヶ所		1ヶ所		計 2ヶ所		
			2ヶ所		2ヶ所		1ヶ所		1ヶ所				
			ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所				
型式	数量	アルミ製引き違い窓	見込み 70	合計 1ヶ所	アルミ製引き違い窓	見込み 70	合計 4ヶ所	アルミ製引き違い窓	見込み 70	合計 2ヶ所	アルミ製引き違い窓	見込み 70	合計 1ヶ所
姿 図													※消防法大型開口部
	仕上げ アルミ アルマイト処理（シルバー）												
	ガラス 5mm透明ガラス												
	額 縁 木枠 C.L塗装												
	金 物 クレセント アルミ水切り、付属金物一式												
	備 考 UVカットフィルム貼り※窓ガラス用フィルムA種												
符号	室名	3AW 1. 倉庫 2. 3.	2ヶ所		2ヶ所		2ヶ所						
			ヶ所		ヶ所								
			ヶ所		ヶ所								
型式	数量	アルミ製FIX窓	見込み 70	合計 2ヶ所	アルミ製引き違い戸	見込み 70	合計 3ヶ所						
姿 図													※消防法大型開口部
	仕上げ アルミ アルマイト処理（シルバー）												
	ガラス 6mm型板ガラス												
	額 縁 木枠 C.L塗装												
	金 物 アルミ水切り、付属金物一式												
	備 考 UVカットフィルム貼り※窓ガラス用フィルムA種												
符号	室名	1WD 1. 休憩室(1) 2. 休憩室(2) 3.	1ヶ所		1ヶ所		1ヶ所						
			1ヶ所		1ヶ所								
			ヶ所		ヶ所								
型式	数量	木製引きフラッシュ戸	見込み 40	合計 2ヶ所	木製両引き分けフラッシュ戸	見込み 40	合計 1ヶ所						
姿 図													※消防法大型開口部
	仕上げ 合板張りの上両面加貼り												
	ガラス -												
	額 縁 木枠 C.L塗装												
	金 物 明り窓、引手、戸当たり 引戸錠、戸車 吊金具 付属金物一式												
	備 考												
符号	室名	2WD 1. 倉庫 2. 3.	1ヶ所		1ヶ所		1ヶ所						
			ヶ所		ヶ所								
			ヶ所		ヶ所								
型式	数量	木製引き分けフラッシュ戸	見込み 40	合計 1ヶ所									
姿 図													※消防法大型開口部
	仕上げ 合板張りの上両面加貼り												
	ガラス -												
	額 縁 木枠 C.L塗装												
	金 物 明り窓、引手、戸当たり 吊金具 付属金物一式												
	備 考												
【特記事項】													
1. 図示▽F.Lは、各室床を基準とする。													
2. 建具の図示寸法は、すべて建具枠内寸法とする。													
3. 建具製作前に施工図を作成し、係員の承諾を得る。													
4. 建具使用金物は事前にサンプル等を提出し、係員の承諾を得る。													
5. 建具の現場取付けは、係員立ち会いの元に施工する。													
6. 特記なき建具の硝子止めは、シーリングとする。													
7. 建具の塗装に関する色・柄等は、全て係員の指示による。													
8. その他不明の点は、係員の指示によるものとする。													
【凡例】													
ハッチは排煙窓を示す													
・外倒し窓または突出し窓は 開放角度60°以上とする。													
工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事				工事年度	令和7年度							
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆				図面名称	建具表							
発注機関	沖縄県中央児童相談所				縮 尺	1／100							
適 要					図面番号	A- 17							
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計							
				資格者氏名	一級建築士 徳村 泉								
				登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 二級建築士 大臣登録 第350160号								
				所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号								

室名	事務室
床	構造用合板t=12の上、厚50mmOAフロアー 厚3.5mmOAフロア用タイルカーペット張り
巾木	ソフト巾木 H=100
仕上	壁
	RC
	LG
	PB 12.5下地 ビニルクロス仕上 外壁側) 厚50断熱材グラスウール 24kg/m³充填 厚9.5 化粧石膏ボード910 x 910
	天井
	廻縁 塩ビ製
備考	エアコン 休憩室側は上部開口 流しW=1,500



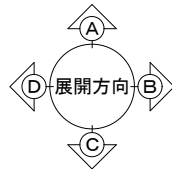
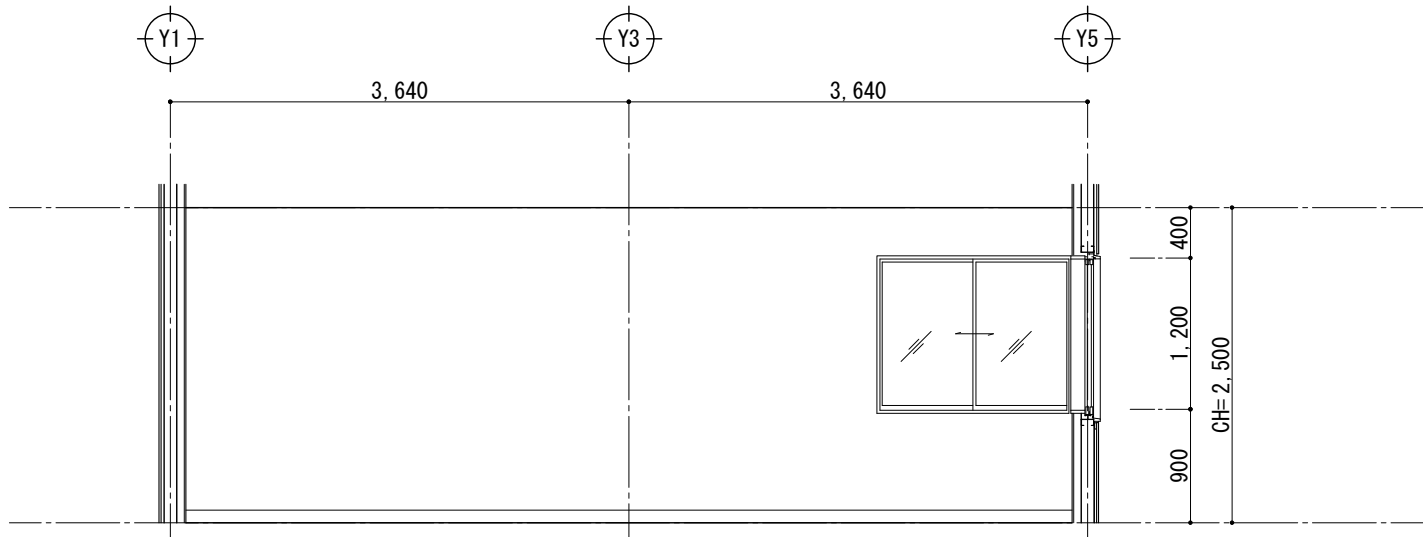
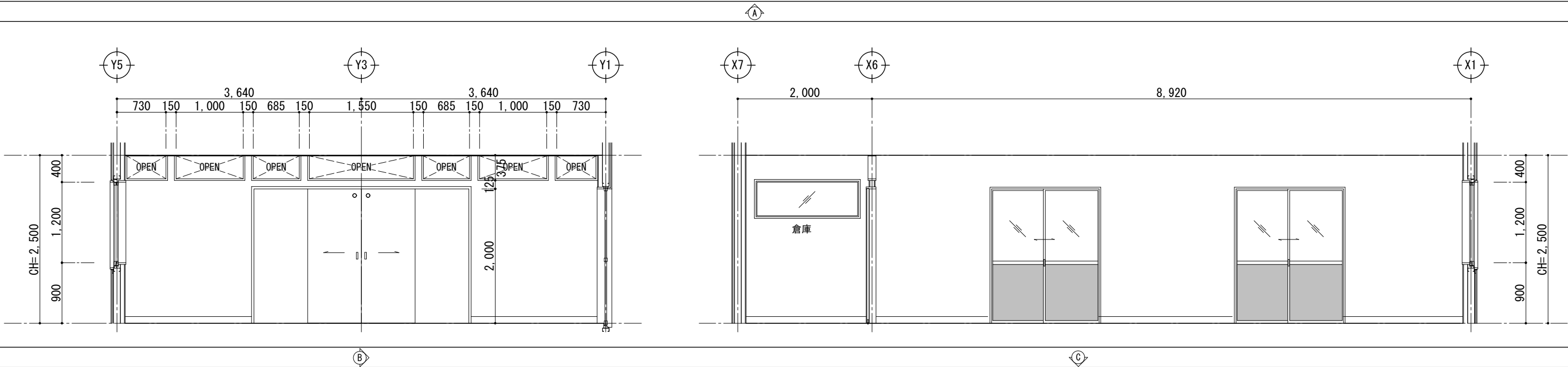
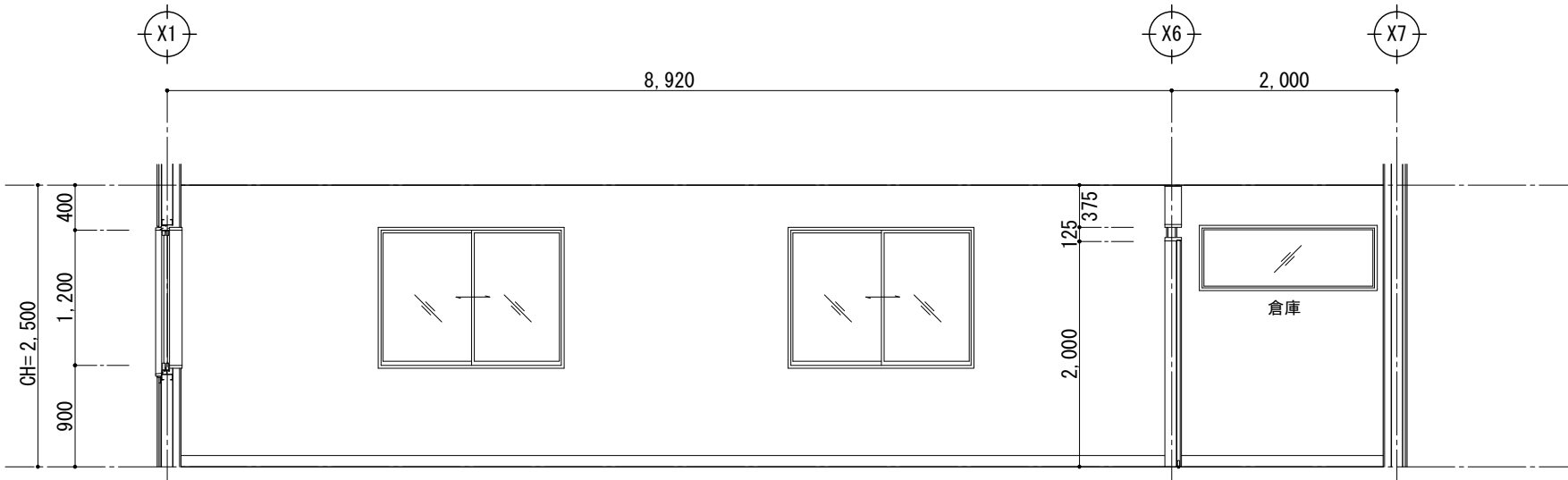
工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事	工事年度	令和7年度
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆	図面名称	展開図-1
発注機関	沖縄県中央児童相談所	縮尺	1/100
適要		図面番号	A-18
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
	登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
	所在地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	

仕 上	室 名	休憩室(1)(2)
	床	構造用合板t=12の上、厚50mmOAフロアー 厚3.5mmOAフロア用タイルカーペット張り
	巾木	ソフト巾木 H=100
	壁	RC
		PB 12.5下地
	LGS	ビニルクロス仕上 外壁側) 厚50断熱材ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24kg/m³充填 厚9.5 化粧石膏ボード910 x 910
備 考	天井	
	廻縁	塩ビ製
	棚:D600 x W1800 x H1800 (計2個) 事務室側は上部開口	



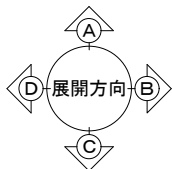
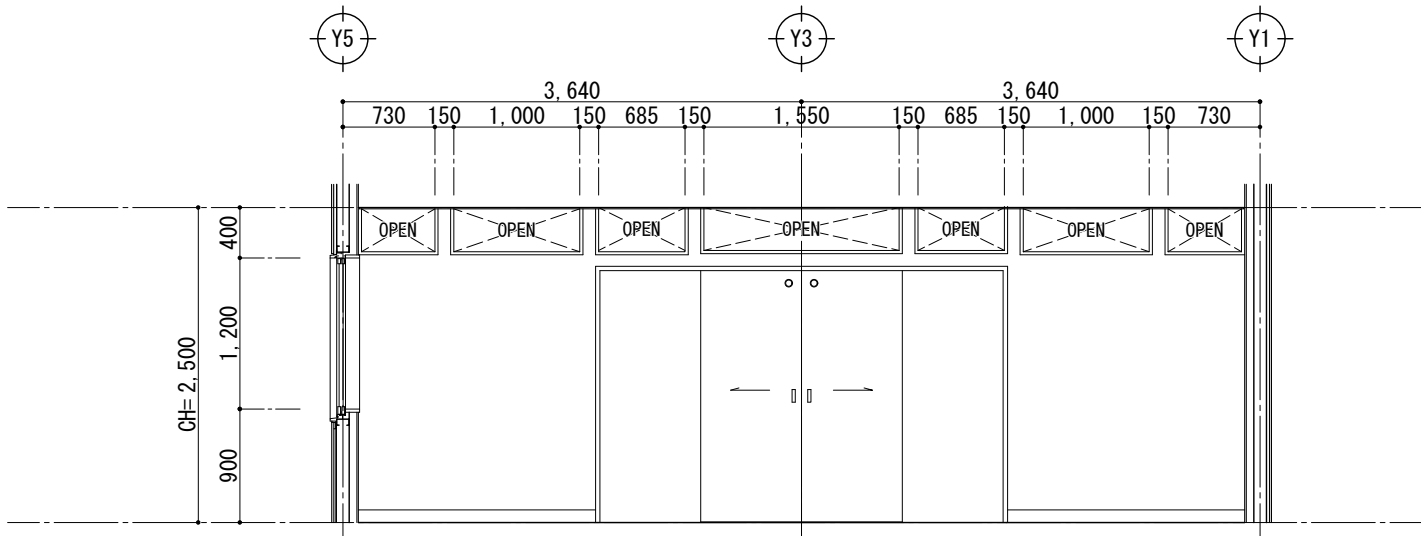
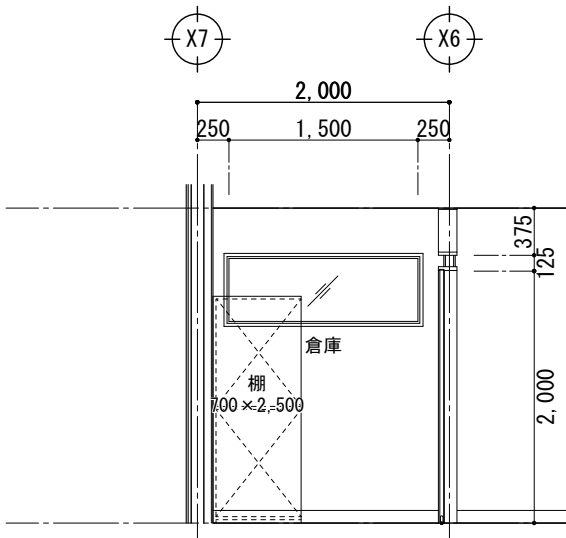
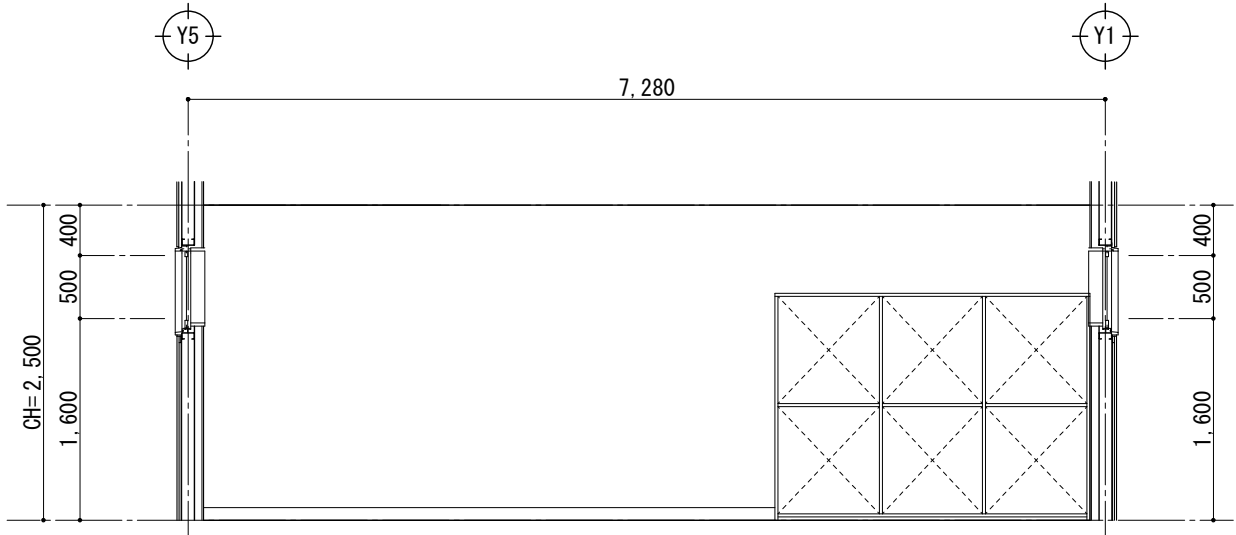
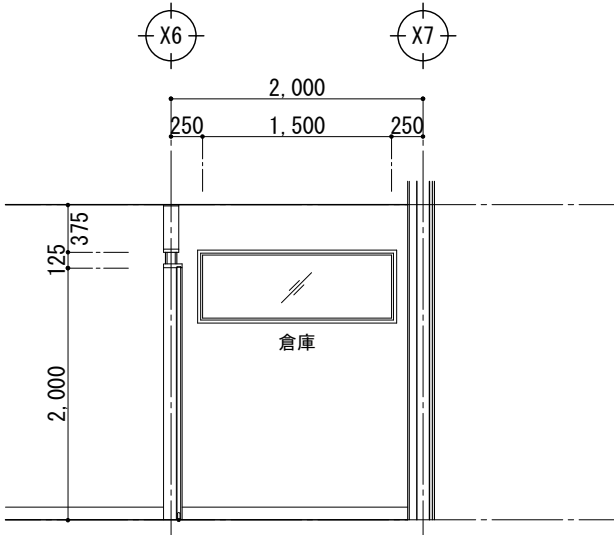
工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事	工事年度	令和7年度
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆	図面名称	展開図-2
発注機関	沖縄県中央児童相談所	縮 尺	1/100
適 要		図面番号	A-19
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	一級建築士 徳村 泉	
	登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号	
	所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号	

室 名		オープンスペース
仕 上	床	構造用合板t=12の上、厚50mmOAフローア 厚3.5mmOAフロア用タイルカーペット張り
	巾木	ソフト巾木 H=100
	壁	RC
	壁	LG6
	天井	厚50断熱材ｸﾞﾗｽｰﾙ 24kg/m ³ 充填 厚9.5 化粧石膏ボード910 x 910 厚50断熱材ｸﾞﾗｽｰﾙ 24kg/m ³ 充填
備 考	廻縁	塩ビ製
	エアコン	
		倉庫側は上部開口

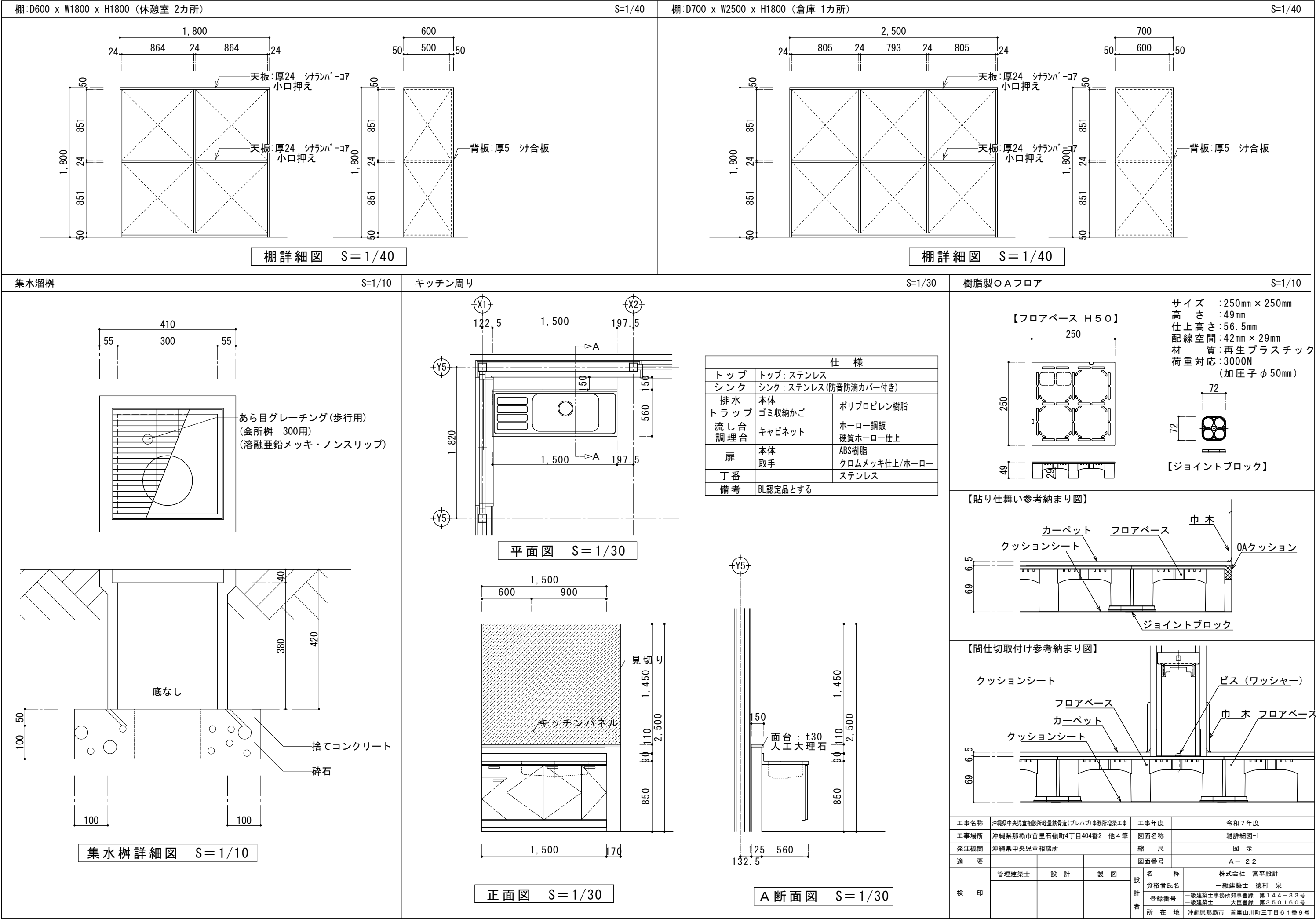


工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事	工事年度	令和7年度
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆	図面名称	展開図-3
発注機関	沖縄県中央児童相談所	縮 尺	1/100
適 要		図面番号	A-20
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	一級建築士 徳村 泉
		登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号
		所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号

仕 上	室 名	倉庫
	床	構造用合板t=12の上、厚50mmOAフロアー 厚3.5mmOAフロア用タイルカーペット張り
	巾木	ソフト巾木 H=100
	壁	RC
	LGS	PB 12.5下地 ビニルクロス仕上
	天井	外壁側) 厚50断熱材ｸﾞﾗｽｰﾙ 24kg/m³充填 厚9.5 化粧石膏ボード910 x 910 厚50断熱材ｸﾞﾗｽｰﾙ 24kg/m³充填
備 考	廻縁	塩ビ製
	棚:D700 x W2500 x H1800 (計1個)	
	オープンスペース側は上部開口	



工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事	工事年度	令和7年度
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆	図面名称	展開図-4
発注機関	沖縄県中央児童相談所	縮 尺	1/100
適 要		図面番号	A-21
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者		名 称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	一級建築士 徳村 泉
		登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号
		所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号



採光計算 補正係数根拠 (Y5通りAW-1' 建具採用)		消防法有窓階算定	
X ÷ 5.345 × 6 - 1.4 = 3.00 X = 3.91 境界線までの距離が3,900mm以上の有る為正係数は3を採用		1、2階（共通）：79.49㎡ 79.49×1/30=2.64 AW-1' 1.20×1.60×0.5×2カ所=1.92 AD-1 2.00×1.60×0.5×1カ所=1.60 1.92 + 1.60 = 3.52 3.52 > 2.94 OK	
建具有効面積算定表 [AW-1 AW-1']		建具有効面積算定表 [AW-2 AW-2']	建具有効面積算定表 [AD-1]
採光面積：1.200×1.600 =1.92 換気面積：1.200×1.600×1/2=0.96		採光面積：1.200×1.500 =1.80 換気面積：1.200×1.500×1/2=0.90	採光面積：－ 換気面積：2.000×1.600×1/2=1.60
排煙面積算定チェックリスト			
※排煙窓の面積が床面積の1/50以下 各階床面積=79.498㎡ 79.498÷50=1.58995㎡ 必要排煙面積=1.589㎡			
1階建具 AW-1 0.800×0.400×1カ所=0.32㎡ AW-1' 0.800×0.400×2カ所=0.64㎡ AW-2 0.750×0.400×1カ所=0.30㎡ AW-2' 0.750×0.400×2カ所=0.60㎡ AD-1 0.800×0.300×1カ所=0.24㎡ 小 計 2.10㎡		2階建具 AW-1 0.800×0.400×0カ所=0.00㎡ AW-1' 0.800×0.400×2カ所=0.64㎡ AW-2 0.750×0.400×1カ所=0.30㎡ AW-2' 0.750×0.400×1カ所=0.30㎡ AD-1 0.800×0.300×2カ所=0.48㎡ 小 計 1.72㎡	
必要排煙 計画排煙 結果 1.58995㎡ ≤ 2.10㎡ OK		必要排煙 計画排煙 結果 1.58995㎡ ≤ 1.72㎡ OK	

採光・換気チェックリスト		※採光補正係数に関しましては、Y5通りと敷地境界線までの距離が3.90m以上有り採光補正係数は3.00を採用します。	
1階 事務所 64.94㎡			
令第116条の2 無窓居室 必要採光面積 64.94×1/20=3.24 有効採光面積 AW-1' 1.92×2ヵ所×3.00=11.52 11.52>3.24 OK	必要換気面積 64.94×1/20=3.24 有効換気面積 AW-1+AW-1' 0.96×3ヵ所=2.88 AD-1 1.60×1ヵ所=1.60 2.88 + 1.60 = 4.48 4.48>3.24 OK	必要換気面積 64.94×1/50=1.29 有効換気面積 AW-1+AW-1' 0.32×3ヵ所=0.96 AW-2 0.30×1ヵ所=0.30 AD-1 0.24×1ヵ所=0.24 0.96 + 0.30 + 0.24 = 1.50 1.50>3.24 OK	
1階 休憩室 (1)(2) 7.28㎡			
令第116条の2 無窓居室 必要採光面積 7.28×1/20=0.36 有効採光面積 AW-2' 1.80×1ヵ所×3.00=5.40 5.40>0.36	必要換気面積 7.28×1/20=0.36 有効換気面積 AW-2' 0.90×1ヵ所=0.90 0.90>0.36 OK	必要換気面積 7.28×1/50=0.14 有効換気面積 AW-2' 0.30×1ヵ所=0.30 0.30>0.14 OK	
2階 オープンスペース 64.94㎡			
令第116条の2 無窓居室 必要採光面積 64.94×1/20=3.24 有効採光面積 AW-1' 1.92×2ヵ所×3.00=5.76 5.76>3.24 OK	必要換気面積 64.94×1/20=3.24 有効換気面積 AW-1' 0.96×2ヵ所=1.92 AW-2' 0.90×2ヵ所=1.80 1.92 + 1.80 = 3.72 3.72>3.24 OK	必要換気面積 64.94×1/50=1.29 有効換気面積 AW-1' 0.32×2ヵ所=0.64 AW-2' 0.30×2ヵ所=0.60 AD-1 0.24×2ヵ所=0.48 0.64 + 0.60 + 0.48 = 1.72 1.72>1.29 OK	

工事名称	沖縄県中央児童相談所軽量鉄骨造(プレハブ)事務所増築工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目404番2 他4筆			図面名称	法規チェック図	
発注機関	沖縄県中央児童相談所			縮 尺	-	
適 要				図面番号	A-23	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計
					資格者氏名	一級建築士 徳村 泉
					登録番号	一級建築士事務所知事登録 第144-33号 一級建築士 大臣登録 第350160号
					所 在 地	沖縄県那覇市 首里山川町三丁目61番9号